

2021 (令和3)年度

# 秋田県立近代美術館年報

**Akita Museum of Modern Art** Annual Report, 2021



**Akita  
Museum  
of  
Modern  
Art**



秋田県立近代美術館 外観

<b>沿革</b>	2
<b>美術館の事業紹介</b>	3
<b>2021(令和3)年度事業一覧</b>	5
<b>展示事業</b>	
i 特別展 ときめく美人画展 培広庵コレクション	7
ii 特別展 カラクリ展ー動くしくみが丸わかりー	10
iii 特別展 生誕100年 滝平二郎展～ものがたりを描いた画家～	15
iv 特別展 没後50年 勝平得之展	23
v 企画展 近美彫刻セレクションー塊の生命力ー	28
i コレクション展 第I期 アートにみるイキモノたち	30
ii コレクション展 第II期 美のしくみ～工芸セレクションほか～	31
iii コレクション展 第III期 エスキース esquisse ～スケッチの魅力～	32
iv コレクション展 第IV期 春を迎える日本画	34
<b>教育普及事業</b>	
キンビ・創作体験プログラム	35
ミュージアムコンサート	38
美術館講座・美術講演	39
出前美術館・出前美術展館	40
ネットワーク推進事業	42
ふれんどりーギャラリー	43
美術館のセカンドスクールの利用	45
博物館実習	46
美術館ボランティアAMC（アムック）	47
<b>収集事業</b>	
美術品収集	48
図書資料	49
<b>美術品保存</b>	
美術品保存・修復	50
重要文化財等指定	50
<b>燻蒸</b>	51
<b>美術品の貸し出し</b>	51
<b>調査・研究業績</b>	52
<b>刊行物</b>	53
<b>入館状況</b>	54
<b>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応</b>	55
<b>組織</b>	56
<b>関係法規</b>	57
<b>館内図</b>	59
<b>建築・設備概要</b>	61
<b>利用・交通案内</b>	62

## 沿革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元年)	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成6)年	4月20日	開館
1997(平成9)年	10月2日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月	特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月	入館者数2,000,000人を達成
2018(平成30)年	2月～3月	休館し、館内改修工事を実施
2018(平成30)年	4月	リニューアルオープン
	8月	入館者数2,500,000人を達成

# 美術館の事業紹介

## ◆ 展 示

### 企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

### コレクション展

当館所蔵作品を年4回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

## Exhibition

### Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

### Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

## ◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

## Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

## ◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

## Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

#### ◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ① 収蔵品に関する調査研究
- ② 秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③ 保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④ その他の調査

#### Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researches

#### ◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

#### Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

#### ◆ 教育普及

誰もが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携によって、さらに積極的な普及活動を行います。

#### Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group (AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.



秋田県立近代美術館 地下1階エントランスホール

# 2021(令和3)年度事業一覧

月／ 5階展示室 6階展示室 △移動展等 ◆企画展関連イベント等

2021	4	4月24日(土)～6月20日(日) 特別展 ときめく美人画展 培広庵コレクション		4月14日(水)～7月11日(日) 2021コレクション展 第1期 アートにみるイキモノたち		ときめく美人画展 ◇ ギャラリートーク 「コレクター培広庵のよもやまばなし」 4月24日(土) 午後1時30分～2時30分 講師：培広庵氏
	5					
	6					
	7	6月26日(土)～9月5日(日) 特別展 カラクリ展 一動くしくみが丸わかりー		7月14日(水)～10月11日(日) 2021コレクション展 第2期 美のしくみ ～工芸セレクションほか～		カラクリ展 ◇ “書き時計” 作者・鈴木完吾さんによるスペシャルトーク 7月18日(日) ①回目午前11時～ ②回目午後2時～ ◇ ABSアナウンサーと担当学芸員のトークセッション 7月3日(土) 各日とも、①回目午前11時～ ②回目午後2時～ ◇ 記念ワークショップ「カラクリボックスをつくってみよう」 7月31日(土)、8月9日(月・祝) 各日とも、①回目午前10時～ ②回目午後1時30分～
	8					
	9	9月11日(土)～11月14日(日) 特別展 生誕100年 滝平二郎展 ～ものがたりを描いた画家～				
	10			10月14日(木)～1月11日(火) 2021コレクション展 第3期 エスキース esquisse ～スケッチの魅力～		▲11月3日(水・祝)～11月7日(日) 出前美術館 Artが大館市にやってきた 会場：大館市立扇田小学校
	11					
	12	11月20日(土)～2月6日(日) 特別展 没後50年 勝平得之展				
		12/29(日)～31(火) 年末休館				
2022	1	没後50年 勝平得之展		エスキース esquisse		
		1/12(水)～21(金) メンテナンス休館				
	2	2月12日(土)～4月17日(日) 企画展 近美彫刻セレクション 一塊の生命カ-		1月22日(土)～4月10日(日) 2021コレクション展 第4期 春を迎える日本画		▲12月10日(金)～1月25日(火) ネットワーク事業 「ファッションアワード「装い」の表現」 会場：秋田県立図書館特別展示室
	3					



◆2021年度 秋田県立近代美術館 美術館講座  
特任館長講座

《弥勒の世を寿ぐ

―室町から桃山時代の美術と文化Ⅱ  
風俗画の世界》

- 6月 5日(土) 描かれた都―洛中洛外図屏風の世界
- 7月10日(土) 参詣から遊楽へ―野外遊楽図
- 8月 7日(土) ツワモノたちの風儀―武家風俗図
- 8月21日(土) 佳境を愛でる―名所風俗図
- 9月25日(土) 祭に興じる―祭礼図
- 10月16日(土) かぶく人々―歌舞伎図
- 11月 6日(土) 異国への眼差し―南蛮屏風と洋風画
- 12月 4日(土) 閉ざされた遊郭―桃山風俗図の終焉

講師：仲町啓子

(秋田県立近代美術館特任館長・実践女子大学文学部教授)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室



☆6月6日(日)~7月4日(日) ふれんどりーギャラリー  
齋藤罔男氏「漆芸展」



●7月25日(日)みんなの教室「つくろう!ふんぼうアマルズ」



●8月8日(日)きっずあーと「びじゅつかんでローラー遊び2」



☆9月26日(日)~10月17日(日) ふれんどりーギャラリー  
大関智子氏「#garden」



●10月2日(土)・3日(日)美術館教室「日本画教室 果物を描く」  
講師：大関智子氏(秋田公立美術大学 助教)

◎10月17日(日)ミュージアムコンサート  
「山田朗子ピアノコンサート」



☆11月21日(日)~12月26日(日) ふれんどりーギャラリー  
草薙裕氏「草薙裕写真展 火を編む」



●12月5日(日)みんなの教室「楽しいな!版画でカレンダー」

●12月11日(土)・12日(日)美術館教室「写真教室―デジタルネガからの鶏卵紙プリンター」  
講師：草薙裕氏(秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科 助手)



2021

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2021

1

2

3

## i. 特別展

### ときめく美人画展 培広庵コレクション

会 期 2021(令和3)年4月24日(土)～6月20日(日)【58日間】  
 主 催 秋田県立近代美術館  
 特別協力 培広庵  
 企画協力 釣月庵 ヤマト運輸株式会社  
 後 援 横手市/横手市教育委員会/秋田魁新報社/朝日新聞秋田総局/  
 毎日新聞秋田支局/読売新聞秋田支局/河北新報社/  
 産経新聞秋田支局/日本経済新聞社秋田支局/  
 NHK秋田放送局/ABS秋田放送/AKT秋田テレビ/  
 AAB秋田朝日放送/エフエム秋田/横手かまくらFM/  
 担 当 小林紀子、鈴木京

江戸時代の浮世絵に端を発し、近代に華開いた美人画は長く人々に親しまれてきた日本画の分野の一つ。美人画は時代を映す鏡のように、その時代に求められた理想の女性美、美人像を反映して表わされてきた。「培広庵コレクション」は、美人画の黄金期といわれる大正時代を含む明治から昭和までの移り変わりを網羅する日本有数の美人画コレクションである。

本展覧会では、その貴重なコレクションの中から、美人画の巨匠と謳われる上村松園、鏑木清方、伊東深水を初め、大阪の画壇で活躍した北野恒富、島成園、北陸を拠点に活動した紺谷光俊らによる優品と、秋田県出身の日本画家・寺崎廣業らによる当館所蔵の美人画をあわせて紹介した。



#### 1. 四季の風雅とともに

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	木村斯光	浅春	昭和15(1940)年頃	絹本着色 軸装	67×72
2	紺谷光俊	知恵詣の図	大正初期	絹本着色 軸装	125×42
3	池田輝方	御代参詣	大正4(1915)年頃	絹本着色 軸装	142×51
4	紺谷光俊	若菜摘み・きのこ狩	昭和5(1930)年	絹本着色 軸装 (双幅)	各114×37
5	案本一洋	古代美人	大正11(1922)年頃	絹本着色 軸装	114×40
6	谷角日沙春	送春図	昭和6(1931)年頃	絹本着色 軸装	119×28
7	島 成園	つれづれ	昭和20(1945)年代	絹本着色 額装	51×56
8	島 成園	惜春	大正12(1923)年頃	絹本着色 軸装	30×40
9	廣田百豊	桜美人	昭和初期	絹本着色 軸装	37×43
10	島 成園	微酔	大正中期	絹本着色 軸装	111×41
11	島 成園	夕化粧	大正12(1923)年頃	絹本着色 軸装	45×51
12	鏑木清方	江の嶋	昭和2(1927)年頃	絹本着色 軸装	123×42
13	岡本大更	三美春野行楽之図	昭和14(1939)年	絹本着色 軸装	125×42
14	山川秀峰	立美人図	昭和2(1927)年頃	絹本着色 軸装	125×42
15	上村松園	桜可里能図	昭和10(1935)年頃	絹本着色 軸装	127×42
16	中村貞以	惜春	昭和20(1945)年代	絹本着色 軸装	131×42
17	池田輝方・池田蕉園	春秋図	大正4(1915)年頃	絹本着色 軸装 (双幅)	各127×42
18	紺谷光俊	手鏡	大正中期	絹本着色 軸装	127×42
19	榎本千花俊	春宵	大正12(1923)年頃	絹本着色 軸装	137×41
20	太田聴雨	長夜	昭和初期	絹本着色 額装	48×55
21	梶原緋佐子	たそがれの庭	昭和6(1931)年頃	絹本着色 軸装	43×51

22	紺谷光俊	夕涼	昭和初期	絹本着色 軸装	27×24
24	梶原緋佐子	涼風	昭和40(1965)年代	絹本着色 額装	47×53
25	紺谷光俊	更衣	大正後期	絹本着色 二曲一隻屏風	146×149
26	伊東深水	薄暮	昭和15(1940)年頃	絹本着色 軸装	137×36
27	鐙木清方	翠影	大正12(1923)年頃	絹本着色 軸装	136×50
28	川崎小虎	髪すき	大正11(1922)年頃	絹本着色 額装	129×161
29	板倉星光	蛍	昭和初期	絹本着色 軸装	41×128
30	板倉星光	夏の夕	昭和15(1940)年頃	絹本着色 軸装	52×57
31	木谷千種	涼宵	昭和10(1935)年代	絹本着色 軸装	145×51
32	千島華洋	秋の月	昭和15(1940)年頃	絹本着色 軸装	47×51
33	紺谷光俊	採果図	昭和初期	絹本着色 額装	200×116
34	山村耕花	四季美人図 [夏の虹 秋の月]	大正7(1918)年頃	絹本着色 二曲一隻屏風	220×212
35	立石春美	想	昭和初期	絹本着色 軸装	129×42
36	中村大三郎	静思	大正9(1920)年頃	絹本着色 軸装	151×51
37	大林千萬樹	絵本見る女	昭和3(1928)年頃	絹本着色 軸装	128×43
38	鐙木清方	秋の錦	昭和22(1947)年	絹本着色 軸装	127×36
39	鐙木清方	紅萩	不詳	絹本着色 軸装	123.2×35.8
40	鐙木清方	秋の夜	大正8(1919)年	絹本着色 軸装	140.3×50.7
41	鐙木清方	初雪	明治45(1912)年頃	絹本着色 軸装	110×41
42	伊東深水	積雪	昭和15(1940)年頃	絹本着色 軸装	128×42
43	山川秀峰	雪	昭和18(1943)年頃	絹本着色 軸装	57×52
44	伊藤小坡	雪の朝	昭和5(1930)年頃	絹本着色 軸装	128×42

## 2. 物語と女性

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
45	板倉星光	鏡獅子	昭和5(1930)年頃	絹本着色 軸装	46×52
46	廣田百豊	松風	昭和初期	絹本着色 軸装	131×43
47	堀井香坡	熊野	昭和3(1928)年頃	絹本着色 軸装	127×27
48	梶原緋佐子	桜下美人	大正10(1921)年頃	絹本着色 軸装	144×40
49	山村耕花	お七吉三	大正初期	絹本着色 軸装 (双幅)	各 126×42
50	山川秀峰	鵲乃鏡	大正9(1920)年頃	絹本着色 軸装	169×69
51	渡辺省亭	塩冶高貞妻浴後図	明治25(1892)年	絹本着色 軸装	219×70
52	山川秀峰	安倍野	昭和3(1928)年	絹本着色 二曲一隻屏風	234×222
53	橘 小夢	花車	昭和40(1965)年頃	絹本着色 二曲一隻屏風	107×107
54	堂本印象	研遊帖	大正後期	絹本着色 額装(十二面)	各 36×35

## 3. 美人画の開花

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
55	幸野楳嶺	今様官女図	明治初期	絹本着色 軸装	113×34
56	寺崎廣業	秋草美人	不詳	絹本着色 軸装	44×26
57	千種掃雲	雪の日	明治45(1912)年頃	絹本着色 掛軸	113×41
58	寺崎廣業	墨堤之雪	明治26(1893)年	絹本着色 軸装	65.4×110.4
59	寺崎廣業	紫式部石山寺観月図(仮題)	明治30年代	絹本着色 額装	42.5×146.0
60	池田輝方・池田蕉園	お夏	明治末頃	絹本着色 軸装 (双幅)	108×27
61	島崎柳塙	三世代婦女図	明治40(1907)年頃	絹本着色 軸装	129×73
62	石井滴水	後の月	明治40(1907)年頃	絹本着色 二曲一隻屏風	113×150
63	池田蕉園	秋思	大正2(1913)年頃	絹本着色 軸装	141×51
64	鱒崎英朋	もみじ	大正中期	絹本着色 軸装	140×51
65	大林千萬樹	新粧	大正9(1920)年頃	絹本着色 軸装	128×43
66	北野恒富	願いの糸	大正3(1914)年頃	絹本着色 軸装	113×42
67	島 成園	つづみ	大正3(1914)年頃	絹本着色 軸装	126×41

68	島 成園	化粧	大正4(1915)年頃	絹本着色 軸装	129×51
69	菊池契月	元禄美人	大正末期	絹本着色 軸装	140×51
70	増原宗一	夏の宵	大正15(1926)年頃	絹本着色 軸装	146×47
71	森川青坡	宵夷之図 (十日戎)	大正後期	絹本着色 軸装	41×50
72	木谷千種	春光	大正中期	絹本着色 軸装	32×41
73	岡本神草	仮面	昭和2(1927)年	絹本着色 軸装	58×51
74	岡本神草	傘の舞妓	大正11(1922)年	絹本着色 軸装	31×41
75	寺島紫明	湯上り	昭和20(1945)年代	紙本着色 軸装	56×63
76	樋口富麻呂	装ひ	大正15(1926)年頃	絹本着色 額装	54×73
77	甲斐庄楠音	裸婦	不詳	絹本着色 額装	43×41
78	寺島紫明	甲南夫人	昭和25(1950)年頃	絹本着色 額装	60×63
79	梶原緋佐子	待つ間	昭和40(1965)年代	絹本着色 額装	53×40

#### 4. 伝統の美・芸事の粋

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
80	北野恒富	京舞妓	昭和初期	絹本着色 額装	71×70
81	北野恒富	祇園舞妓	昭和初期	絹本着色 額装	58×68
82	吉川観方	加茂川舞妓夕涼図	大正3(1914)年頃	絹本着色 軸装	148×57
83	松浦舞雪	よそおいのまえ	昭和7(1932)年	絹本着色 軸装	126×34
84	横尾芳月	立茶手前	昭和19(1944)年頃	絹本着色 二曲一隻屏風	171×169
85	小早川 清	名妓市丸	昭和8(1933)年	絹本着色 軸装	211×113
86	中村大三郎	明粧	明治初期	絹本着色 軸装	127×36
87	小西長広	踊妓	大正4(1915)年	絹本着色 二曲一双屏風	各170×172
88	村上華岳	屋形船の図	大正7(1918)年	絹本着色 額装(扇面)	26×57
89	土田麦僊	舞妓	大正5(1916)年頃	絹本着色 額装	73×41
90	岡本神草	舞妓	昭和3(1928)年	絹本着色 額装	51×58
91	堀井香坡	舞妓	昭和10(1935)年代	絹本着色 額装	46×52
92	竹久夢二	投扇興	大正6(1917)年頃	絹本着色 二曲一隻屏風	86×213
93	廣田百豊	太夫	昭和10(1935)年頃	絹本着色 額装(屏風)	91×187
94	山川秀峰	素踊	昭和6(1931)年	紙本着色 額装(二曲一隻)	167×122
95	磯田又一郎	祇園白川巽橋	昭和40(1965)年代	絹本着色 額装	41×55

#### ◇関連記事

##### 【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』 すいよう学芸館 美を知る 108

4/28

『河北新報社』

5/27

『朝日新聞』

6/6

##### 【テレビ】

CNA秋田ケーブルテレビ 「し~なちゃん」

6/10



展示室の様子



ii. 特別展

カラクリ展 動くしくみが丸わかり

会 期 2021(令和3)年6月26日(土)～9月5日(日)【72日間】

主 催 カラクリ展実行委員会  
(秋田県立近代美術館・ABS秋田放送)

企画協力 株式会社MOLEN(モーレン)

後 援 横手市/横手市教育委員会/秋田魁新報社/朝日新聞秋田総局/  
毎日新聞秋田支局/読売新聞秋田支局/河北新報社/  
産経新聞秋田支局/日本経済新聞社秋田支局/  
NHK秋田放送局/ABS秋田放送/AKT秋田テレビ/  
AAB秋田朝日放送/エフエム秋田/横手かまくらFM/

担 当 木村雅洋、秋田達也

ハンドルを回すと、おもしろい動きをくり返す「オートマタ」という人形を中心に、カラクリ機構に焦点を当てた展覧会。イギリスのポール・スプーナーらのオートマタ作品をはじめとして、写真資料や機構模型、カラクリに時刻を書かせるという斬新な発想で話題となった鈴木完吾氏の「書き時計」など140点以上を展示した。作品に加えた力が、カラクリにより様々な動きへ変化の様子を見ることができ、知的好奇心が刺激される内容だった。関連イベントとして、鈴木完吾氏のスペシャルトーク、ABSアナウンサーとのトークセッション、カラクリボックスを作るワークショップを行い、大勢の方々に参加していただいた。会期中には新型コロナウイルス感染拡大により、秋田県の警戒レベルが上がったが、最終的には1万6468人のお客様が来場され、カラクリの魅力を存分に楽しんでいただいた。



第1展示室

No	作品名	駆動	作者名	寸法(cm)	制作年
1	ポール・スプーナー工房写真	×	ポール・スプーナー	380×200	2017
2	クマネコ		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1987
3	ラクダ練習機		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1988
4	スイス・アーミー・ナイフ		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1989
5	泳ぎ方		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1990
6	無駄な努力		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1990
7	バスタブの山羊		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1990
8	山羊とピアノ		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1991
9	玉の輿		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1992
10	釘打は難しい		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1993
11	透明人間のベッド		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1995
12	最後のドードー鳥		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1998
13	グリーンボール		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1997
14	クネクネ人形		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1997
15	無駄な努力	×	ポール・スプーナー	B5	1990
16	バスタブの山羊	×	ポール・スプーナー	B5	1990
17	山羊とピアノ	×	ポール・スプーナー	B5	1991
18	玉の輿	×	ポール・スプーナー	B5	1992
19	釘打は難しい	×	ポール・スプーナー	B5	1993
20	機構の壁1	カム	橋爪宏治	240×90×50	2014
21	機構の壁2	かけば歯車	橋爪宏治	240×90×50	2014
22	機構の壁3	クランク	橋爪宏治	240×90×50	2014
23	機構の壁4	断続的な連続運動機構	橋爪宏治	240×90×50	2014

24	機構の壁5 平歯車	橋爪宏治	240×90×50	2014
25	スライダークランク	(株)モーレン	60×200×60	2011
	※会期中より「錠ハンドル車」に展示替え」			
26	並行スライダークランク	(株)モーレン	60×200×60	2011
27	ゼネバストップA	(株)モーレン	60×200×60	2011
28	ゼネバストップB	(株)モーレン	60×200×60	2011
29	楕円コンパス	(株)モーレン	60×200×60	2011
30	ピン面歯車	(株)モーレン	60×200×60	2011
31	ロバーバルはかり	(株)モーレン	60×200×60	2011
32	クロススライダークランク	(株)モーレン	60×200×60	2011
33	クロススライダー偏心輪	(株)モーレン	60×200×60	2011
34	エスケープ	(株)モーレン	60×200×60	2011
35	早戻り機構	(株)モーレン	60×200×60	2011
36	正方形を描く4運動カム	(株)モーレン	60×200×60	2011
37	ベルクランクドライブ	(株)モーレン	60×200×61	2011
38	マルチプル トランメル ギア A	(株)モーレン	60×200×60	2011
39	平歯車	(株)モーレン	60×200×60	2011
40	変形カム	(株)モーレン	60×200×60	2011
41	カムとスタンパ	(株)モーレン	60×200×60	2011
42	三個の並行クランクと連結棒	(株)モーレン	60×200×60	2011

## 第2展示室

No	作品名	駆動	作者名	寸法(cm)	制作年
43	バナナ熟成師		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	2000
44	手荒いもてなし		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	2000
45	キツネのハイキング		ポール・スプーナー&マット・スミス	170×60×60	2001
46	ご主人様の宝箱		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	2000
47	スパゲティを食べる男(オリジナル)		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1999
48	光の王子		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	2006
49	飛べないはずの鳥		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	2003
50	ラクダの夢		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	2000
51	スパゲティを食べる男	×	ポール・スプーナー	160×120×70	2006
52	さまよう二人		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×60×60	2002
53	さまよう二人	×	ポール・スプーナー	B5	2002
54	フラフープ		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	2003
55	フラフープ	×	ポール・スプーナー	B5	2003
56	河豚		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	2002
57	河豚	×	ポール・スプーナー	B5	2002
58	マンドレイク	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
59	アヌビスの手品		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1998
60	魚を哺乳類に進化させる方法	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
61	スコットランドのアヌビス		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	2009
62	荒野の誘惑	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
63	アヌビスのフィットネス・クラブ		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	2001
64	キクイムシの根絶方法	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
65	アヌビスの工事		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	2006
66	7匹のラブラドル	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
67	モンマルトルのアヌビス		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1989
71	緊張とくつろぎの倒錯	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
69	仮面の下は誰?(オリジナル)		ポール・スプーナー&マット・スミス	135×35×35	1987
70	最良の石	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳

71	アヌビスの腕立て	×	ポール・スプーナー&マット・スミス	(10×11×3)	2001
72	アヌビスの腹筋	×	ポール・スプーナー&マット・スミス	(10×11×3)	2001
73	5つのパンと2匹の魚	×	ポール・スプーナー	A0	制作年不詳
74	マネのオランピア	×	ポール・スプーナー	A4	1991
75	悪い知らせ	×	ポール・スプーナー	A4	1991
76	仮面の下は誰?	×	ポール・スプーナー&マット・スミス	230×60×60	2005
77	傷ついたミルク	×	ポール・スプーナー	B5	1994
78	傷ついたミルク(オリジナル)		ポール・スプーナー&マット・スミス	140×50×50	1994
79	傷ついたミルク	×	ポール・スプーナー&マット・スミス	180×120×80	2006
80	山羊のストレス	×	ポール・スプーナー&マット・スミス	(25×13×8)	2009
81	肉屋	×	ポール・スプーナー&マット・スミス	(10×15×10)	2004
82	不思議なスープ		ポール・スプーナー	135×35×35	1998
83	ニュートンの法則		ポール・スプーナー	135×35×35	2008
84	心の美術館		ポール・スプーナー	140×60×60	1992
85	円の発見		ポール・スプーナー	135×35×35	2008
86	ラッキー・キャット		ポール・スプーナー	150×75×50	2013
87	ラッキー・キャット	×	ポール・スプーナー	A1	2013
88	腹話術師	×	ポール・スプーナー	140×60×60	2010

### 第3展示室

No	作品名	駆動	作者名	寸法(cm)	制作年
89	道化		ポール・スプーナー	140×50×50	2020
90	再生の機構	×	ポール・スプーナー	(32×18×11)	2012
91	フィギア	×	ポール・スプーナー	(18×6×3)	2009
92	山羊とオルガン		マット・スミス	140×60×60	2003
93	山羊とオルガン	×	ポール・スプーナー	B5	2003
94	鶏の値段		マット・スミス	140×60×60	2005
95	機関車遊び		マット・スミス	135×35×35	2012
96	シークレット		マット・スミス	135×35×35	2013
97	オンボロ自転車レース		マット・スミス	160×90×60	2010
98	ガイコツの矛盾		マット・スミス	135×35×35	2014
※会期中よりロブ・アイヴス「クモのサーフィン」に展示替え					
99	マーメイド		キース・ニューステッド	140×50×50	制作年不詳
100	イカルス		キース・ニューステッド	140×50×50	制作年不詳
101	未来から来たライダー		キース・ニューステッド	160×80×50	2013
102	ドラゴン		キース・ニューステッド	150×100×80	制作年不詳
103	フライングピッグ		キース・ニューステッド	135×35×35	制作年不詳
104	スキーをする犬		キース・ニューステッド	135×35×35	制作年不詳
105	漁師		カルロス・ザパダ	140×50×50	2003
106	洋ナシ(参考出展)	×	カルロス・ザパダ	135×35×35	2005
107	バナナ(参考出展)	×	カルロス・ザパダ	135×35×35	2005
108	メロン(参考出展)	×	カルロス・ザパダ	135×35×35	2005
109	感情に揺れる大きな頭 1/4	×	ポール・スプーナー	230×180	1993
110	感情に揺れる大きな頭 2/4	×	ポール・スプーナー	230×180	1993
111	感情に揺れる大きな頭 3/4	×	ポール・スプーナー	230×180	1993
112	感情に揺れる大きな頭 4/4	×	ポール・スプーナー	230×180	1993
113	アイディアスケッチ 1/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
114	アイディアスケッチ 2/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
115	アイディアスケッチ 3/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
116	アイディアスケッチ 4/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
117	アイディアスケッチ 5/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳

118	アイディアスケッチ	6/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
119	アイディアスケッチ	7/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
120	アイディアスケッチ	8/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
121	アイディアスケッチ	9/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
122	アイディアスケッチ	10/10	×	ポール・スプーナー	A2パネル	制作年不詳
123	猫は楽しむために生きる		×	ポール・スプーナー	150×120	制作年不詳
124	回答する機械		×	ポール・スプーナー	150×120	制作年不詳

#### 第4展示室

No	作品名	駆動	作者名	寸法(cm)	制作年
125	キックダンス(参考出展)		ピーター・マーキー	135×35×35	制作年不詳
126	もう怒ったわよ(参考出展)		ピーター・マーキー	135×35×35	制作年不詳
127	クモ(参考出展)		ニール・ハーディ	135×35×35	制作年不詳
128	ネコの皿回し(参考出展)	×	ニール・ハーディ	135×35×35	制作年不詳
129	ムーン・サイクル		ステファン・フォルクナー	140×50×50	2011
130	空飛ぶブタ君(参考出展)		ロブ・アイヴス	135×35×35	2000
131	空飛ぶサカナ(参考出展)		ロブ・アイヴス	135×35×35	2000
132	道化の体操(参考出展)		ロブ・アイヴス	135×35×35	制作年不詳
133	イライラ指(参考出展)	×	ロブ・アイヴス	135×35×35	2000
134	ニワトリさんのウェーブ(参考出展)	×	ロブ・アイヴス	135×35×35	2002
135	書き時計	×	鈴木完吾	170×60×50	2016
136	赤いドラゴン(参考出展)	×	ヴォルター・ルフラー	135×35×35	制作年不詳
137	古代エジプトの男(参考出展)	×	ヴォルター・ルフラー	135×35×35	制作年不詳
138	オフロード(参考出展)	×	ヴォルター・ルフラー	135×35×35	制作年不詳
139	フタコブラクダの昼寝		坂 啓典	135×35×35	2007
140	キツツキとカケヒキ		坂 啓典	135×35×35	2007
141	落ち着きのないオオハシ		坂 啓典	135×35×35	2007
142	まないたの上		坂 啓典	135×35×35	2007
143	ロボット行進曲		坂 啓典	135×35×35	2007
144	母ツバメの悩み		坂 啓典	135×35×35	2013
145	朝のあいさつ(参考出展)	×	西田明夫	(21×28×13)	制作年不詳
146	金魚台輪	×	坂 啓典	135×35×35	2011
147	カラクリ関連書籍等	×			

#### ◇関連記事

##### 【新聞・雑誌等】

『読売新聞』	6/4
『北鹿新聞』	6/10
『秋田魁新報』 すいよう学芸館 美を知る116	6/30
『マリ・マリ』	7/2
『秋田魁新報』	7/8
『河北新報』	7/19
『河北新報』	7/29
『秋田魁新報』	8/30
『あきたタウン情報』	7月号
『どあっぷなう』	7月号
『rakura』	7,8月号
『市報よこて』	8月号
『ゆうゆう』	9月号

##### 【テレビ・ラジオ】

ABSラジオ 「まちなか SESSION エキマイク」	7/9
-----------------------------	-----



ABS秋田放送「ABSニュースevery」

7/10

NHK秋田「お昼のニュース」

7/16

NHK仙台「もりすた」

7/20

ABS秋田放送「エビ☆ステ」

7/31

【Web】

Walkerplus イベント

チラシミュージアム

アートアジェンダ

美術手帳

横手経済新聞



展示室の様子



スペシャルトーク・トークセッションの様子

iii. 特別展

生誕100年 滝平二郎展  
～ものがたりを描いた画家

会 期 2021(令和3)年9月11日(土)～11月14日(日)【65日間】  
主 催 生誕100年 滝平二郎展実行委員会  
(AAB秋田朝日放送・秋田県立近代美術館)  
特別協力 滝平二郎事務所  
後 援 横手市/横手市教育委員会/秋田魁新報社/朝日新聞秋田総局/  
毎日新聞秋田支局/読売新聞秋田支局/河北新報社/  
産経新聞秋田支局/日本経済新聞社秋田支局/横手経済新聞/  
NHK秋田放送局/ABS秋田放送/AKT秋田テレビ/  
岩手朝日テレビ/エフエム秋田/横手かまくらFM/  
担 当 鈴木京、木村雅洋



本展は画家・滝平二郎（1921-2009）の大回顧展。2015年に続き2度目となる滝平展となった本展示では、木版画、絵本原画、きりえカットの3ジャンルを時系列に紹介。初期の木版画や絵本『猫山』の主要場面など、前回未陳の作品も多数展示し、好評をいただいた。アーサー・ビナード氏と滝平加根氏による対談イベントやギャラリートークが中止となるなど、会期中旬から新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあったが、会期中9,269名のお客様にご来場いただくことができた。絵本世界を体感できる大型のフォトスポットも好評だった。

1. 画家の目覚め—物語と人間、そして戦争

No	作品名	寸法(mm)	制作年	技法材質
1	若葉の候	245 × 246	1974	きりえ/和紙・洋紙、墨・水彩
2	悪童と伝説	247 × 338	1940	木版/和紙、油性墨一色摺り
3	村の秋	233 × 323	1941	木版/和紙、油性多色摺り（硝子摺り）
4	自画像（沖縄にて）	211 × 157	1944	紙、鉛筆
5	戦争敗走記「傷」	405 × 295	1947	紙、ペン（インク）
6	戦争敗走記「猿」	360 × 257	1947	紙、ペン・筆（インク・墨）
7	戦争敗走記「骨」	405 × 295	1947	紙、ペン（インク）
8	戦争敗走記「水」	360 × 257	1947	紙、ペン（インク）
9	戦争敗走記「部隊長」	360 × 257	1947	紙、ペン（インク）
10	戦争敗走記「誘い」	318 × 293	1947	紙、ペン・筆（インク・墨）
11	戦争敗走記「望郷」	318 × 293	1947	紙、ペン・筆（インク・墨）
12	戦争敗走記「お守り」	318 × 293	1947	紙、ペン（インク）
13	戦争敗走記「照明弾」	318 × 293	1947	紙、ペン（インク）
14	自画像（4つの自画像）	286 × 206	1952	紙、鉛筆
15	好男像（A）	284 × 230	1940	紙、鉛筆
16	普美子像（A）	295 × 205	1942	紙、鉛筆
17	普美子像（B）	295 × 205	1942	紙、鉛筆
18	好男像（B）	284 × 230	1946	紙、コンテ
19	祖父喜藤太像（A）	285 × 230	1947	紙、コンテ
20	祖父喜藤太像（B）	284 × 230	1948	紙、鉛筆・ペン（インク）

## 2. 戦後—木版画家としての再出発

No	作品名	寸法(mm)	制作年	技法材質
21	紅い花	285 × 227	1948	木版／和紙、油性多色摺り
22	麦焼き	275 × 215	1948	木版／和紙、油性墨一色摺り
23	麦刈り	276 × 216	1949	木版／和紙、油性墨一色摺り
24	若い農婦	148 × 100	1949	木版／和紙、油性多色摺り
25	農 婦	136 × 107	1951	木版／和紙、油性多色摺り
26	秋田にて	300 × 228	1951	木版／和紙、油性墨一色摺り
27	土 橋	189 × 230	1951	木版／和紙、油性多色摺り (合羽摺り)
28	どじょう掘り	165 × 227	1951	木版／和紙、油性多色摺り (合羽摺り)
29	晩 秋	363 × 288	1953	木版／和紙、油性多色摺り
30	麦 畑	360 × 286	1953	木版／和紙、油性多色摺り
31	母と子	303 × 225	1954	木版／和紙、油性多色摺り (手彩色)
32	粗朶はこび	307 × 230	1954	木版／和紙、油性多色摺り (手彩色)
33	霞ヶ浦にて	455 × 350	1955	木版／和紙、油性墨一色摺り
34	漁禁-その1	456 × 340	1956	木版／和紙、油性墨藍二色摺り
35	漁禁-その2	450 × 302	1956	木版／和紙、油性墨藍二色摺り
36	漁禁-その3	303 × 452	1956	木版／和紙、油性墨藍二色摺り
37	わかさぎ	355 × 258	1960	木版／和紙、油性多色摺り (タマムシ箔)
38	湖畔の母子	333 × 245	1960	木版／和紙、油性多色摺り (タマムシ箔)
39	鎌-その1	424 × 307	1964	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
40	鎌-その2	307 × 424	1964	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
41	鉞 鎌	485 × 320	1965	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
42	ふたり	463 × 347	1966	木版／和紙、油性白一色摺り
43	紅い炎	715 × 495	1968	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
44	青い炎	700 × 495	1968	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
45	縛	450 × 300	1968	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
46	姉 弟	450 × 227	1968	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
47	持つ人	477 × 186	1969	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
48	手	390 × 278	1969	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
49	少 女	393 × 305	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
50	冬の子供	290 × 410	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
51	夏の子供	300 × 400	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
52	黒 猫	215 × 158	1960	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
53	ろうそく	123 × 92	1970	木版／和紙、油性多色摺り
54	見当板	340×360×30	1954	木、蝶番

## 3. 絵本原画 I —絵本の仕事へ

No	作品名	寸法(cm)	制作年	技法材質
55	裸の王さま	386 × 5000	1951	木版／和紙、油性多色摺り (白ボール)
56	夕焼け	338 × 497	1962	木版／和紙、油性多色摺り
57	貝とり	302 × 422	1962	木版／和紙、油性多色摺り
58	村のジャングル	330 × 450	1965	木版／和紙、油性多色摺り
59	野良帰り	325 × 445	1965	木版／和紙、油性多色摺り
60	ひと休み	316 × 404	1965	木版／和紙、油性多色摺り
61	ベロ出しチョンマ-A	230 × 185	1968	木版／和紙、油性多色摺り
62	ベロ出しチョンマ-B	230 × 185	1968	木版／和紙、油性多色摺り
63	ゆ き	290 × 455	1969	木版／和紙、油性多色摺り (銀箔)
64	峠	215 × 154	1970	木版／和紙、油性多色摺り
65	さるかに COVER	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
66	さるかに pp. 02-03	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ

67	さるかに pp. 10-11	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
68	さるかに pp. 16-17	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
69	さるかに pp. 20-21	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
70	さるかに pp. 22-23	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
71	さるかに pp. 30-31	245 × 426	1967	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
72	八 郎 COVER	330 × 486	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性多色摺り
73	八 郎 pp. 02-03	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
74	八 郎 pp. 04-05	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
75	八 郎 pp. 06-07	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
76	八 郎 pp. 08-09	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
77	八 郎 pp. 10-11	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
78	八 郎 pp. 12-13	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
79	八 郎 pp. 14-15	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
80	八 郎 pp. 16-17	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
81	八 郎 pp. 18-19	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
82	八 郎 pp. 20-21	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
83	八 郎 pp. 22-23	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
84	八 郎 pp. 24-25	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
85	八 郎 pp. 26-27	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
86	八 郎 pp. 28-29	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
87	八 郎 pp. 30-31	312 × 467	1967	木版・きりえ／和紙・洋紙、墨・油性一色摺り
88	ちいさいおしろ COVER	290 × 453	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
89	ちいさいおしろ p. 03	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
90	ちいさいおしろ p. 13／p. 17	各230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
91	ちいさいおしろ p. 23	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
92	ちいさいおしろ pp. 26-27	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
93	ちいさいおしろ pp. 38-39	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
94	ちいさいおしろ pp. 40-41	230 × 370	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
95	ちいさいおしろ p. 43	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
96	ちいさいおしろ p. 45／p. 24	各230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
97	ちいさいおしろ pp. 46-47	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
98	ちいさいおしろ p. 67	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
99	ちいさいおしろ p. 69／p. 61	各230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
100	ちいさいおしろ pp. 80-81	230 × 370	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
101	ちいさいおしろ p. 83	230 × 185	1968	きりえ／和紙・洋紙、墨・グアッシュ
102	そらをとぶふね COVER	273 × 447	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
103	そらをとぶふね pp. 10-11	273 × 415	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
104	そらをとぶふね pp. 12-13	273 × 415	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
105	そらをとぶふね pp. 28-29	273 × 415	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
106	三 コ COVER	312 × 462	1969	木版／和紙、油性墨一色摺り
107	三 コ pp. 12-13	312 × 462	1969	木版／和紙、油性墨一色摺り
108	三 コ pp. 30-31	312 × 462	1969	木版／和紙、油性墨一色摺り
109	花さき山 COVER	300 × 490	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
110	花さき山 pp. 02-03	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
111	花さき山 pp. 04-05	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
112	花さき山 pp. 06-07	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
113	花さき山 pp. 08-09	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
114	花さき山 pp. 10-11	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
115	花さき山 pp. 12-13	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
116	花さき山 pp. 14-15	252 × 425	1969	洋紙、水彩 (あやの花)
117	花さき山 pp. 16-17	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩

118	花さき山 pp. 18-19	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
119	花さき山 pp. 20-21	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
120	花さき山 pp. 22-23	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
121	花さき山 pp. 24-25	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
122	花さき山 pp. 26-27	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
123	花さき山 pp. 28-29	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
124	花さき山 pp. 30-31	252 × 425	1969	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
125	半日村 COVER	320 × 515	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
126	半日村 pp. 10-11	280 × 480	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
127	半日村 pp. 14-15	280 × 480	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
128	半日村 pp. 18-19	280 × 480	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
129	半日村 pp. 24-25	280 × 480	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
130	半日村 pp. 28-29	280 × 480	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
131	半日村 pp. 30-31	280 × 480	1980	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
132	火の鳥 COVER	308 × 503	1982	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
133	火の鳥 pp. 06-07	283 × 484	1982	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
134	火の鳥 pp. 20-21	283 × 484	1982	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
135	火の鳥 pp. 28-29	283 × 484	1982	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
136	ひばりの矢 pp. 06-07	290 × 490	1985	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
137	ひばりの矢 pp. 08-09	290 × 490	1985	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
138	ひばりの矢 pp. 14-15	290 × 490	1985	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
139	ひばりの矢 pp. 20-21	290 × 490	1985	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
140	ひばりの矢 pp. 24-25	290 × 490	1985	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
141	ひばりの矢 pp. 30-31	290 × 490	1985	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
142	ひばりの矢 絵割り	380 × 538	1985	紙、鉛筆

#### 4. 日常のなかの「物語」 ―一世風靡の「きりえ」、朝日新聞日曜版ほか

No	作品名	寸法(mm)	制作年	技法材質
143	嫁さま	420 × 140	1970	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
144	もらい風呂	415 × 139	1970	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
145	獅子舞	416 × 140	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
146	入学式	412 × 142	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
147	身体検査	410 × 140	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
148	てるてる坊主	410 × 141	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
149	雨あがり	410 × 141	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
150	金魚	415 × 142	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
151	たなばた	410 × 140	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
152	迎え火	410 × 140	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
153	夕立	411 × 141	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
154	行水	410 × 142	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
155	さんま	410 × 140	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
156	すすきが原	409 × 141	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
157	紅葉	409 × 140	1971	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
158	ねこ柳	198 × 362	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
159	小正月の朝	153 × 326	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
160	かまくら	151 × 309	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
161	梅	151 × 308	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
162	春休み	169 × 313	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
163	もくれん	172 × 314	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
164	竹の子	172 × 313	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
165	大工さん	175 × 313	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩

166	蚊帳	175 × 314	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
167	灯ろう流し	175 × 314	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
168	昼さがり	175 × 313	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
169	読む	175 × 314	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
170	木の実	175 × 315	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
171	寒い朝	175 × 315	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
172	春を待つ	176 × 315	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
173	「色彩きりえの作り方」原画	363 × 270	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
174	たなばた	173 × 310	1993	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
175	たなばた（下絵）	B5～A4		折込チラシ、コピー用紙／鉛筆
176	お獅子	173 × 310	1993	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
177	お獅子（下絵）	B5～A4		折込チラシ、コピー用紙／鉛筆
178	菊	175 × 314	1995	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
179	菊（下絵）	B5～A4		折込チラシ、コピー用紙／鉛筆
180	春	175 × 314	1995	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
181	春（下絵）	B5～A4		折込チラシ、コピー用紙／鉛筆
182	愛用画材（彫刻刀（14本）馬棟、その他	-----	-----	-----
183	おしくらまんじゅ	225 × 234	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
184	螢の光	227 × 236	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
185	安里屋ユンタ	224 × 233	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
186	からたちの花	226 × 235	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
187	城ヶ島の雨	225 × 234	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
188	てるてる坊主	225 × 235	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
189	かなりや	225 × 235	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
190	会津磐梯山	226 × 235	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
191	庭の千草	225 × 235	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
192	たき火	230 × 240	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
193	旅	308 × 213	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
194	初午	244 × 245	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
195	ひよこ	245 × 246	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
196	雨の朝	245 × 246	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
197	火取虫	245 × 245	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
198	晴れ間	247 × 248	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
199	天花粉	245 × 245	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
200	蚊いぶし	245 × 245	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
201	残り鷲	245 × 245	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
202	秋夕焼	245 × 245	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
203	黄落	245 × 245	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
204	迷い草	306 × 210	1974	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
205	箸の転んだもおかしい	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
206	鳥の行水	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
207	茶腹も一時	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
208	棒ほど願うて針ほどかなう	207 × 287	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
209	木乃伊とりが木乃伊になる	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
210	急がばまわれ	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
211	急がばまわれ（下絵）	222 × 300	1975	原稿用紙、鉛筆・カッター
212	闇夜に鳥 雪に鷲	206 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
213	ままごと・連載五周年	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
214	天高く馬肥ゆ	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
215	山椒は小粒でもびりりと辛い	205 × 285	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
216	隣の花は赤い	205 × 286	1975	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩

217	春一番	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
218	おぼろ	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
219	一年生	221 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
220	新緑	223 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
221	夢	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
222	雨がさ	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
223	蠅	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
224	水浴び	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
225	蓮華	223 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
226	落日	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
227	冬がくる	222 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
228	暮れる	223 × 315	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
229	あじさい	300 × 213	1976	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
230	炬燵	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
231	うさぎ	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
232	井戸ばた	326 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
233	魚釣り	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
234	提灯	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
235	虫さされ	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
236	金魚	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
237	手花火	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
238	裏の畑で	323 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
239	朝顔	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
240	曼珠沙華	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
241	運動会	325 × 200	1977	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
242	なまはげ	216 × 194	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
243	水仙	233 × 191	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
244	月夜	240 × 192	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
245	かまくらの夜	240 × 227	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
246	春の海	195 × 224	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
247	風の神	261 × 195	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
248	虹の橋	214 × 259	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
249	夕立姫	288 × 231	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
250	星月夜	222 × 191	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
251	雨ふらし	183 × 219	1978	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
252	あかとんぼ	310 × 260	1981	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
253	初雪	310 × 260	1981	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
254	夕立	310 × 260	1982	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
255	山ぶどう	310 × 260	1982	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
256	初春	325 × 260	1983	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
257	かるた「江戸いろは」原画 (47点)	各120 × 85	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・網版色指定
258	かるた「上方いろは」原画 (48点)	各78 × 55	1973	きりえ／和紙・洋紙・墨・網版色指定
259	江戸いろは (特製版)	各73 × 52	1972	四色刷手貼裏打
260	上方いろは (特製版)	各73 × 52	1973	四色刷手貼裏打
261	NHKドラマ『赤ひげ』No. 07	275 × 350	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
262	NHKドラマ『赤ひげ』No. 12	245 × 330	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
263	NHKドラマ『赤ひげ』No. 13	435 × 630	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
264	NHKドラマ『赤ひげ』No. 14	495 × 685	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
265	NHKドラマ『赤ひげ』No. 15	495 × 685	1972	きりえ／和紙・洋紙・墨・水彩
266	NHKドラマ『赤ひげ』台本	各245 × 175	1972~73	オフセット印刷

## 5. 絵本原画Ⅱ－勇気がとる木・『モチモチの木』を中心に

No	作品名	寸法(mm)	制作年	技法材質
267	モチモチの木 COVER	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
268	モチモチの木 pp. 02-03	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
269	モチモチの木 pp. 06-07	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
270	モチモチの木 pp. 08-09	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
271	モチモチの木 pp. 10-11	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
272	モチモチの木 pp. 12-13	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
273	モチモチの木 pp. 14-15	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
274	モチモチの木 pp. 16-17	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
275	モチモチの木 pp. 18-19	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
276	モチモチの木 pp. 20-21	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
277	モチモチの木 pp. 22-23	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
278	モチモチの木 pp. 24-25	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
279	モチモチの木 pp. 26-27	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
280	モチモチの木 pp. 28-29 (二十日ver.)	285 × 485	1976	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
281	モチモチの木 pp. 28-29 (三日月ver.)	285 × 490	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
282	モチモチの木 pp. 30-31	285 × 485	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
283	モチモチの木 背表紙 (豆太)	115 × 45	1971	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
284	猫 山 COVER	316 × 544	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
285	猫 山 pp. 02-03	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
286	猫 山 pp. 12-13	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
287	猫 山 pp. 16-17	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
288	猫 山 pp. 20-21	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
289	猫 山 pp. 22-23	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
290	猫 山 pp. 24-25	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
291	猫 山 pp. 26-27	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
292	猫 山 pp. 28-29	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
293	猫 山 pp. 30-31	285 × 486	1983	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
294	ソメコとオニ COVER	325 × 515	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
295	ソメコとオニ pp. 04-05	275 × 470	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
296	ソメコとオニ pp. 08-09	275 × 470	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
297	ソメコとオニ pp. 20-21	275 × 470	1987	きりえ／和紙・洋紙、墨・水彩
298	ソメコとオニ 絵割り	374 × 501	1987	紙、鉛筆
299	郵便切手「おわんの舟」	222 × 140	1974	オフセット印刷
300	郵便切手「鬼退治」	222 × 140	1974	オフセット印刷
301	郵便切手「打出の小槌」	222 × 140	1974	オフセット印刷
302	郵便切手「荒城の月」	217 × 140	1979	オフセット印刷
参考	裸の王さまアロハシャツ (Olive)	XS	2012	フィラメントレーヨン／平羽二重／抜染6版6色
参考	裸の王さまアロハシャツ (Pink)	XS	2012	フィラメントレーヨン／平羽二重／抜染6版6色
参考	生誕100年記念バンダナ (Navy)	525 × 525	2020	コットン100％／オーバースタンプ2色刷
参考	生誕100年記念バンダナ (Beige)	525 × 525	2020	コットン100％／オーバースタンプ2色刷
参考	生誕100年記念バンダナ (Red)	525 × 525	2020	コットン100％／オーバースタンプ2色刷
参考	花さき山 (フランス語版)	228 × 208	不明	オフセット印刷

### ◇関連記事

#### 【新聞・雑誌等】

『読売新聞』	8/25
『北鹿新聞』	8/26
『河北新報』	9/11



『朝日新聞』	9/11
『秋田魁新報』	9/11
『陸奥新報』	9/12
『秋田魁新報』	9/22
『秋田魁新報』 すいよう学芸館 美を知る134	11/3
『朝日新聞』	11/7
『あきたタウン情報』	9月号
『秋の全国展覧会情報パレット』	第12号(9/1)
『マリ・マリ』	9/3
『芸術新潮』	10月号
『どあっぷなう』	10月号
『小学図書館ニュース』	10月18日号
『家庭画報』	11月号

【テレビ・ラジオ】

NHK仙台	「もりすた」	9/10
AAB秋田朝日放送	「サタナビ！」	9/11
CNA秋田ケーブルテレビ	「しーなチャン！」	10/14
AAB秋田朝日放送	「トレタテ」	10/27
FMゆーとぴあ		10/14
横手かまくらFM		10/16
FMはなび	「花咲きレディオ」	10/19
FMゆーとぴあ	「おしゃべりミュージックBOX」	10/20
エフエム秋田	「m!x」	10/25

【Web】

アートアジェンダ  
Walkerplus  
美術展ナビ  
Web美術手帳  
秋田県公式観光サイトアキタファン  
Highway Walker  
婦人画報



展示室の様子



年末休館：12月29日(水)～31日(金) メンテナンス休館：1月12日(水)～21日(金)

iv. 特別展

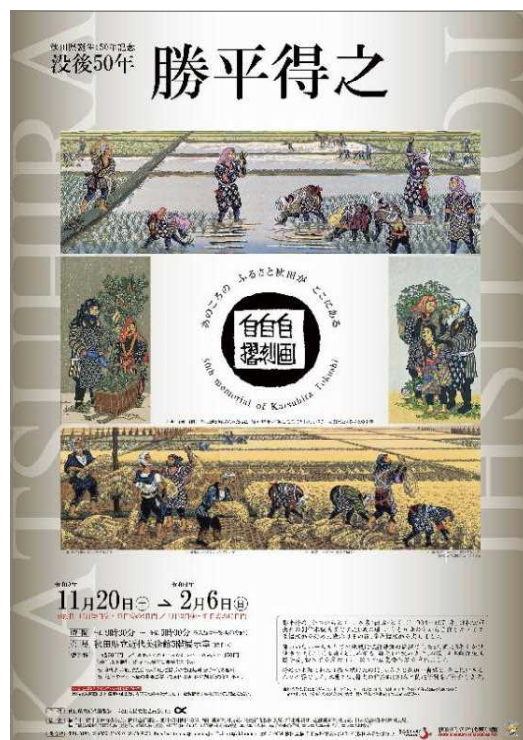
# 没後50年 勝平得之

会 期 2021(令和3)年11月20日(土)～2022(令和4)年2月6日(日)  
 【79日間】※休館13日間を含む  
 年末休館：12月29日(水)～31日(金)  
 メンテナンス休館：1月12日(水)～21日(金)

主 催 秋田県立近代美術館  
 後 援 横手市/横手市教育委員会/秋田魁新報社/朝日新聞秋田総局/  
 毎日新聞秋田支局/読売新聞秋田支局/河北新報社/  
 産経新聞秋田支局/日本経済新聞社秋田支局/横手経済新聞/  
 NHK秋田放送局/ABS秋田放送/AKT秋田テレビ/  
 AAB秋田朝日放送/エフエム秋田/横手かまくらFM/  
 エフエムゆーとぴあ/FMはなび  
 担 当 藤井正輝、鈴木秀一

昨年没後50年を迎えた秋田市出身の創作版画家・勝平得之の回顧展を開催し、当館所蔵の勝平作品をほぼ網羅する作品130点を展示した。あわせてブルーノ・タウトを県内案内したときの日記など資料5点と、自在鉤(じざいかぎ)や踏み俵といった得之の作品に描か

れている民具類を県立博物館より25点お借りし、作品と並べて展示した。小説の挿絵原画57枚組や写真資料類は大型モニターに映して紹介した。ギャラリートークは2回行い、得之が版画家の道を志すに至った経緯や、描かれているもの・場所などにふれながら、得之の確かな版画技術と、彼の描いたふるさと秋田の魅力を鑑賞して回った。



## 第1展示室

No	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	出品展覧会
1	雪の村から	制作年不詳	紙・木版多色刷	25.0×11.3	
2	〈秋田十二景〉外濠夜景	1929(昭和4)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第9回日本創作版画協会展
3	〈秋田十二景〉八橋街道	1929(昭和4)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第9回日本創作版画協会展
4	〈秋田十二景〉草生津川の秋	1930(昭和5)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第3回卓上社版画展
5	〈秋田十二景〉鐘樓餘景	1930(昭和5)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第2回国際美術会展
6	〈秋田十二景〉一丁目橋雪景	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第3回卓上社版画展
7	〈秋田十二景〉雪の湖月濠	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第5回秋田美術会展
8	〈秋田十二景〉長堤早春	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第8回日本版画協会展
9	〈秋田十二景〉新川橋	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第7回日本版画協会展
10	〈秋田十二景〉夜の秋田大橋	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第7回日本版画協会展
11	〈秋田十二景〉日吉神社隨身門	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第7回日本版画協会展
12	〈秋田十二景〉太平山遠望	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第8回日本版画協会展
13	〈秋田十二景〉旭川暮色	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	22.6×29.6	第8回日本版画協会展
14	竿燈勢揃之図	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	29.5×22.5	第1回新興版画展
15	梵天奉納之図	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	27.4×39.4	第1回新興版画展
16	聖園	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	29.0×38.6	第8回白日会展
17	奥入瀬の秋	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	29.2×39.0	
18	十和田湖発荷峠	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	29.5×38.0	第18回日本水彩画会展
19	男鹿半島加茂カンカネ	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	25.0×32.7	
20	雪国の村里	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	28.7×41.1	第6回国画会展
21	店	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	28.7×41.0	第2回国際美術会展
22	雪国の市場	1931(昭和6)	紙・木版多色刷	29.2×42.7	第12回帝展
23	雪むろ	1932(昭和7)	紙・木版多色刷	29.3×39.6	第2回日本版画協会展
24	雪の街	1932(昭和7)	紙・木版多色刷	36.7×51.2	第13回帝展
25	収穫	1933(昭和8)	紙・木版多色刷	37.6×52.2	第3回日本版画協会展
26	河畔雪景	1934(昭和9)	紙・木版多色刷	37.6×52.2	第21回光風会展
27	〈千秋公園八景〉招魂社	1933(昭和8)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第5回秋田美術会展

28	〈千秋公園八景〉本丸晩秋	1933(昭和 8)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第6回秋田美術会展
29	〈千秋公園八景〉春の湖月濠	1933(昭和 8)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第6回秋田美術会展
30	〈千秋公園八景〉蛇柳夜景	1935(昭和10)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第4回日本版画協会展
31	〈千秋公園八景〉雨の内濠	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第6回日本版画協会展
32	〈千秋公園八景〉ニノ丸の初夏	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第6回日本版画協会展
33	〈千秋公園八景〉眺望台の秋	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第6回日本版画協会展
34	〈千秋公園八景〉松下門趾	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	22.4×29.7	第6回日本版画協会展
35	五月の街	1935(昭和10)	紙・木版多色刷	45.2×57.7	第22回光風会展
36	草市	1935(昭和10)	紙・木版多色刷	45.5×59.2	第22回光風会展
37	七夕	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	36.7×51.4	第12回国画会展

## 第2展示室

No	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	出品展覧会
38	ほんでき棒売の図	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	28.0×39.0	第2回日本版画協会展
39	ナマハゲ	1940(昭和15)	紙・木版多色刷	39.7×15.0(左右) 29.7(中)	第9回日本版画協会展
40	送り盆	1940(昭和15)	紙・木版多色刷	59.0×86.2	紀元二千六百年奉祝美術展
41	〈花四題〉春(ツバキ)	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	67.2×36.9	第2回新文展
42	〈花四題〉夏(ハス)	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	67.2×36.9	第2回新文展
43	〈花四題〉秋(菊)	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	67.2×36.9	第3回新文展
44	〈花四題〉冬(なんてん)	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	67.2×36.9	第3回新文展
45	黄金堂和讃	1942(昭和17)	紙・木版多色刷	75.2×45.2	第18回国画会展
46	〈秋田風俗十態〉竿燈	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第7回日本版画協会展
47	〈秋田風俗十態〉天神様	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第7回日本版画協会展
48	〈秋田風俗十態〉彼岸花	1935(昭和10)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第4回日本版画協会展
49	〈秋田風俗十態〉梵天賣	1935(昭和10)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第4回日本版画協会展
50	〈秋田風俗十態〉草市	1935(昭和10)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第4回日本版画協会展
51	〈秋田風俗十態〉笹飴	1936(昭和11)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第5回日本版画協会展
52	〈秋田風俗十態〉犬コ市	1936(昭和11)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第5回日本版画協会展
53	〈秋田風俗十態〉あねこ	1936(昭和11)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第5回日本版画協会展
54	〈秋田風俗十態〉雛売り	1937(昭和12)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第6回日本版画協会展
55	〈秋田風俗十態〉鹿島流し	1938(昭和13)	紙・木版多色刷	39.9×28.8	第7回日本版画協会展
56	〈秋田風俗十題〉いろり	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第8回日本版画協会展
57	〈秋田風俗十題〉かまど	1939(昭和14)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第8回日本版画協会展
58	〈秋田風俗十題〉うまや	1940(昭和15)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第9回日本版画協会展
59	〈秋田風俗十題〉ドッタ	1940(昭和15)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第9回日本版画協会展
60	〈秋田風俗十題〉リンゴ	1940(昭和15)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第9回日本版画協会展
61	〈秋田風俗十題〉はり	1941(昭和16)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第10回日本版画協会展
62	〈秋田風俗十題〉まゆだま	1941(昭和16)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第10回日本版画協会展
63	〈秋田風俗十題〉ささまき	1942(昭和17)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第11回日本版画協会展
64	〈秋田風俗十題〉みづき	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第12回日本版画協会展
65	〈秋田風俗十題〉かきだて	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	29.0×40.4	第12回日本版画協会展
66	土に生きる (11点)	1941(昭和16)	紙・木版墨刷	29.7×38.0	
67	ろばた	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	24.0×34.6	第17回日本版画協会展
68	雪国の子どもたち	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	39.7×81.1	第6回新文展
69	ふろしきぼっち(祝棒を持つ少女)	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	31.3×25.1	献納版画展
70	そでぼっち(姉様人形を持つ少女)	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	31.3×25.1	献納版画展
71	雪国の春	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	27.0×36.3	
72	椽ノ木の話・挿絵(原画57点より10点)	1942(昭和17)	紙・木版墨刷	15.0×21.1	

## 第3展示室

No	作品名	制作年	技法材質	寸法 (cm)	出品展覧会
73	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 鳥舞	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	69.3×39.0	第19回国画会展
74	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 駒舞	1943(昭和18)	紙・木版多色刷	69.3×39.0	第19回国画会展
75	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 鳥遍舞	1944(昭和19)	紙・木版多色刷	69.3×39.0	第13回日本版画協会展
76	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 五大尊舞	1944(昭和19)	紙・木版多色刷	69.3×39.0	第13回日本版画協会展

77	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 権現舞	1948(昭和23)	紙・木版多色刷	39.0×69.3	第16回日本版画協会展
78	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 御常楽	1948(昭和23)	紙・木版多色刷	39.0×69.3	第16回日本版画協会展
79	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 神子舞	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	39.0×69.3	第17回日本版画協会展
80	(大日靈貴神社祭禮舞楽図八部作) 工匠舞	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	39.0×69.3	第17回日本版画協会展
81	駒舞	1950(昭和25)	紙・木版多色刷	34.2×99.7	第18回日本版画協会展
82	ササラ舞	1957(昭和32)	紙・木版多色刷	36.0×99.5	第43回光風会展
83	盆市	1946(昭和21)	紙・木版多色刷	39.8×79.8	第2回日展
84	大漁盆踊	1947(昭和22)	紙・木版多色刷	39.4×80.0	第3回日展
85	豊年盆踊	1948(昭和23)	紙・木版多色刷	40.0×127.0	第4回日展
86	七夕祭	1956(昭和31)	紙・木版多色刷	39.2×135.0	第42回光風会展
87	かまくら	1955(昭和30)	紙・木版多色刷	39.5×140.0	第41回光風会展
88	たいまつ祭	1955(昭和30)	紙・木版多色刷	39.7×133.9	第11回日展
89	秋田民俗絵詞	1945(昭和20)	紙・木版二色刷	19.5×15.1	
90	番楽	1956(昭和31)	紙・木版多色刷	48.0×62.0	第12回日展依嘱出品
91	飾山囃子	1957(昭和32)	紙・木版多色刷	46.7×61.6	第13回日展依嘱出品
92	白童子・赤童子	1958(昭和33)	紙・木版多色刷	各87.9×36.1	第26回日本版画協会展
93	〈単版米作四題〉馬耕(春)	1954(昭和29)	紙・木版多色刷	27.1×66.0	第22回日本版画協会展
94	〈単版米作四題〉植乙女(夏)	1951(昭和26)	紙・木版多色刷	27.1×66.0	第19回日本版画協会展
95	〈単版米作四題〉稲かり(秋)	1951(昭和26)	紙・木版多色刷	27.1×66.0	第19回日本版画協会展
96	〈単版米作四題〉そりひき(冬)	1954(昭和29)	紙・木版多色刷	27.1×66.0	第22回日本版画協会展

#### 第4展示室

No	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)	出品展覧会
97	〈花売風俗十二題〉ねこ柳(1月)	1960(昭和35)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第28回日本版画協会展
98	〈花売風俗十二題〉つばき(2月)	1961(昭和36)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第29回日本版画協会展
99	〈花売風俗十二題〉もも(3月)	1959(昭和34)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第27回日本版画協会展
100	〈花売風俗十二題〉さくら(4月)	1960(昭和35)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第28回日本版画協会展
101	〈花売風俗十二題〉ぼたん(5月)	1961(昭和36)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第29回日本版画協会展
102	〈花売風俗十二題〉あやめ(6月)	1959(昭和34)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第27回日本版画協会展
103	〈花売風俗十二題〉ゆり(7月)	1961(昭和36)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第29回日本版画協会展
104	〈花売風俗十二題〉はす(8月)	1960(昭和35)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第28回日本版画協会展
105	〈花売風俗十二題〉しおん(9月)	1961(昭和36)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第29回日本版画協会展
106	〈花売風俗十二題〉すすき(10月)	1960(昭和35)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第28回日本版画協会展
107	〈花売風俗十二題〉きく(11月)	1959(昭和34)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第27回日本版画協会展
108	〈花売風俗十二題〉かんばな(12月)	1959(昭和34)	紙・木版多色刷	21.0×14.9	第27回日本版画協会展
109	〈農民風俗十二ヵ月〉わら打(1月)	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第17回日本版画協会展
110	〈農民風俗十二ヵ月〉そりひき(2月)	1950(昭和25)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第18回日本版画協会展
111	〈農民風俗十二ヵ月〉堆肥(3月)	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第17回日本版画協会展
112	〈農民風俗十二ヵ月〉種まき(4月)	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第17回日本版画協会展
113	〈農民風俗十二ヵ月〉早乙女(5月)	1950(昭和25)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第18回日本版画協会展
114	〈農民風俗十二ヵ月〉除草(6月)	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第17回日本版画協会展
115	〈農民風俗十二ヵ月〉水車(7月)	1950(昭和25)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第18回日本版画協会展
116	〈農民風俗十二ヵ月〉雀追い(8月)	1951(昭和26)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第19回日本版画協会展
117	〈農民風俗十二ヵ月〉稲刈り(9月)	1951(昭和26)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第19回日本版画協会展
118	〈農民風俗十二ヵ月〉穂こよ(10月)	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第17回日本版画協会展
119	〈農民風俗十二ヵ月〉大根干し(11月)	1950(昭和25)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第18回日本版画協会展
120	〈農民風俗十二ヵ月〉供米(12月)	1951(昭和26)	紙・木版多色刷	24.9×21.8	第19回日本版画協会展
121	〈米作四題〉耕土(春)	1952(昭和27)	紙・木版多色刷	40.0×131.8	第8回日展
122	〈米作四題〉田植(夏)	1950(昭和25)	紙・木版多色刷	40.0×131.8	第6回日展
123	〈米作四題〉刈あげ(秋)	1951(昭和26)	紙・木版多色刷	40.0×131.8	第7回日展
124	〈米作四題〉堆肥運び(冬)	1949(昭和24)	紙・木版多色刷	40.0×131.8	第5回日展
125	絵半切	制作年不詳	紙・木版単色刷	25.5×34.4	
126	八郎瀧冬の漁場	1960(昭和35)	紙・木版多色刷	26.2×65.2	第1回日版会展
127	暮の市日	1962(昭和37)	紙・木版多色刷	15.8×48.2	
128	男鹿のナマハゲ	1962(昭和37)	紙・木版多色刷	16.1×48.4	
129	秋田蓆	1962(昭和37)	紙・木版墨刷	14.2×46.0	

## 借用資料

No	資料名	展示室
131	雪べら ※サテ	第1展示室 秋田県立博物館蔵
132	八橋人形 ※天神様	第2展示室 秋田県立博物館蔵
133	八橋人形 ※お雛様	第2展示室 秋田県立博物館蔵
134	自在鉤 (じざいかぎ)	第2展示室 秋田県立博物館蔵
135	踏み俵 (ふみだわら)	第2展示室 秋田県立博物館蔵
136	彼岸花	第2展示室 秋田県立博物館蔵
137	姉コ人形	第2展示室 秋田県立博物館蔵
138	ぼんでき棒 ※ホンデキ棒	第2展示室 秋田県立博物館蔵
139	雪下駄	第3展示室 秋田県立博物館蔵
140	ワラグツ	第3展示室 秋田県立博物館蔵
141	ウマノツラ	第4展示室 秋田県立博物館蔵
142	横槌 (よこづち)	第4展示室 秋田県立博物館蔵
143	ナガテヌゲ	第4展示室 秋田県立博物館蔵
144	野良着	第3展示室 秋田県立博物館蔵
145	ケラ	第4展示室 秋田県立博物館蔵
146	菅笠 ※つの笠	第4展示室 秋田県立博物館蔵
147	地竹ザル	第4展示室 秋田県立博物館蔵
148	太平箕 (たいへいみ) ※オイダラ箕	第4展示室 秋田県立博物館蔵
149	ナマハゲ青 ※お面	第4展示室 秋田県立博物館蔵
150	ナマハゲ赤 ※お面	第4展示室 秋田県立博物館蔵
151	ニダラ ※ナダラ	第4展示室 秋田県立博物館蔵
152	ちょうちん	第4展示室 秋田県立博物館蔵
153	アシナカ ※足半	第4展示室 秋田県立博物館蔵
154	ワラゾウリ	第4展示室 秋田県立博物館蔵
155	ワラジ	第4展示室 秋田県立博物館蔵

## 収蔵資料

No	資料名	刊行年	展示室
資料1	印影集	—	第1展示室
資料2	「秋田に於けるタウトさん」原稿用紙24枚 (コピー資料)	—	第2展示室
資料3	①「椽ノ木の話」(言霊書房)	1944(昭和19)刊行	第2展示室 ※個人蔵
	②「椽ノ木の話」(翠楊社)	1981(昭和56)刊行	第2展示室
資料4	東北温泉風土記	1940(昭和15)刊行	第2展示室
資料5	「手摺工程画帖」	1936(昭和11)刊行	第2展示室 ※個人蔵

## ◇関連記事

## 【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報社』	地域欄 県南版	11/20 23面
『秋田魁新報社』	すいよう学芸館 美を知る140	12/15 9面
『秋田魁新報社』	新春文化講演会 「版画家・勝平得之が描き残そうとしたもの」	12/25 BLCウイーク、1/5・8
『秋田魁新報社』	社会欄 新春文化講演会 「版画家・勝平得之が描き残そうとしたもの」	1/16
『毎日新聞』	情報コーナー	12月 第2週
『毎日新聞』	秋田県版	1/28以降
『讀賣新聞』	地域版	11/26 22面
『河北新報』	文化欄 東北の美術館・博物館	12月
『北鹿新聞社』	情報ステーション	1月
『陸奥新報社』	文化欄	12/19 11面
『世界日報』	社会欄	2021年 12/30
『世界日報』	文化欄	2022年 1/22

『広報誌「あきたびじょん」』 情報のひろば  
『地域創造レター』 地域通信コーナー  
『美術展完全ガイド2022』 見逃せない美術展40  
『美術の窓』 展覧会PREVIEW  
『rakra』 ラ・クラ  
『あっふる』  
『どあっぷなう』  
『季刊 あおもりのき 第6号』

2021-11・12月号  
No. 320 2022/1/1  
2022年 1/1発行  
No. 460 2022年1/22発行  
vol. 109 2022. 1・2 12/25発行  
No. 374 12/23発行  
No. 10 2022. 1  
1/20発行

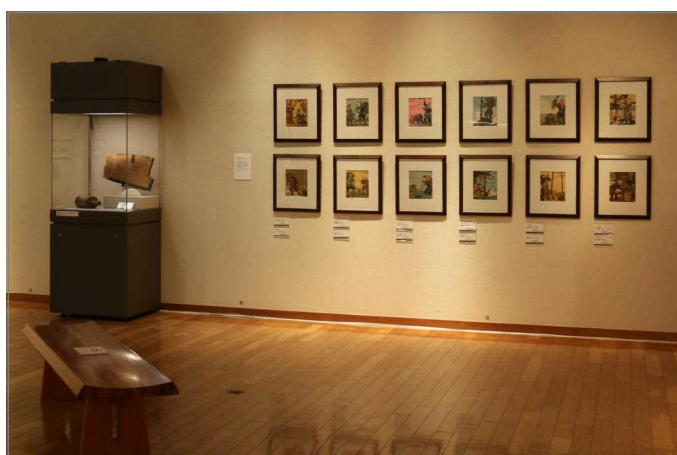
【テレビ・ラジオ】

ABS秋田放送 「ニュースevery」  
NHK 「朝・昼のニュース」

11/26  
12/7

【Web】

あきたびじょんBreak note  
Walkerplus  
アートアジェンダ



展示室の様子

V. 企画展

近美彫刻セレクション -塊の生命力-

会 期 2022(令和4)年2月12日(土)~4月17日(日)【65日間】

主 催 秋田県立近代美術館

担 当 鈴木秀一 鈴木京

本展では、当館に収蔵されている約200点の彫刻作品から、舟越保武、峯田敏郎、高田博厚、皆川嘉博など、近代から現代にかけて活躍した彫刻作家の作品をセレクトして展示を行った。「塊」の芸術である彫刻は、作家の思想や生き様、コンセプトといった要素と、モチーフや素材、技術が複雑に絡み合い作品として生み出された。ブロンズや石膏などの多彩な素材で表現され、作家の思いが込められた立体の生命力と美しさを、様々な角度から鑑賞していただいた。



第1展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	高田博厚	ロマン・ロラン	1961(昭和36)	ブロンズ	21.5 × 18.5 × 15.5
2	高田博厚	高橋元吉	1970(昭和45)	ブロンズ	31.5 × 16.5 × 23.5
3	高田博厚	高村光太郎	1959(昭和34)	ブロンズ	56.5 × 37.0 × 32.5
4	高田博厚	中原中也	1958(昭和33)	ブロンズ	17.0 × 14.5 × 16.0
5	高田博厚	マハトマ・ガンジー No. 1	1960(昭和35)	ブロンズ	26.5 × 23.5 × 23.5
6	佐藤忠良	常磐の大王	1956(昭和31)	ブロンズ	22.5 × 16.0 × 24.0
7	朝倉文夫	よく獲たり	1946(昭和21)	ブロンズ	51.6 × 64.0 × 29.0
8	相川善一郎	地藏尊像	1928(昭和3)	ブロンズ	145.0 × 49.0 × 49.0
9	佐々木素雲	高士像	制作年不詳	木(カツラ)	57.8 × 17.9 × 14.7
10	舟越保武	ANN	1983(昭和58)	ブロンズ	32.0 × 19.0 × 25.0
11	舟越保武	たつこ	1968(昭和43)	石膏	H239.0
12	舟越保武	原の城	1971(昭和46)	ブロンズ	197.0 × 64.0 × 53.0

第2展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
13	柳原義達	犬の唄	1961(昭和36)	ブロンズ	153.3 × 62.0 × 62.0
14	皆川嘉博	土の水による膨張	1992(平成4)	テラコッタ	100.0 × 209.0 × 77.0
15	松田光司	統治する者	1993(平成5)	ブロンズ	48.0 × 46.0 × 25.0
16	細川宗英	作品1966M-1(装飾古墳シリーズ20)	1966(昭和41)	ブロンズ	105.0 × 150.0 × 120.0
17	工藤健	母と子・春	1984(昭和59)	ブロンズ	141.0 × 48.0 × 40.0
18	工藤健	残影(中)	1973(昭和48)	ブロンズ	87.0 × 75.0 × 30.0
19	堀内正和	摩止訶俱天狗	1968(昭和43)	ブロンズ	45.0 × 23.0 × 54.0
20	安藤泉	楯円生活	1975(昭和50)	銅・銀	158.0 × 70.0 × 70.0
21	山本正道	旅の記憶	1986(昭和61)	ブロンズ	20.0 × 126.0 × 44.0

### 第3展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
22	三木富雄	E A R 耳	1972(昭和47)	アルミニウム	72.0 × 60.0 × 3.0
23	昆野恆	無題	1947(昭和22)	石膏	55.0 × 38.5 × 10.5
24	向井良吉	虫	1980年代	アルミニウム・木	65.0 × 91.5 × 16.0
25	オシップ・ザッキン	ポルクス	1953	ブロンズ光沢仕上げ	100.0 × 29.0 × 21.0
26	オシップ・ザッキン	カストール	1953	ブロンズ光沢仕上げ	99.0 × 31.0 × 29.0
27	阿部米蔵	立てる鳥人ーニルバーナの詩	制作年不詳	木(カツラ)	260.0 × 55.0 × 55.0
28	阿部米蔵	横たわる鳥人	制作年不詳	木(カツラ)	70.0 × 145.0 × 60.0
29	渡辺俊蔵	変身	1972(昭和47)	木	180.0 × 51.0 × 127.5
30	西村廣恵	虚空無限	2001(平成13)	木(ネズコ・タモ)	175.0 × 165.0 × 115.0
31	遠藤洪平六	こんにゃく石ー時の貌'89-5	1989(平成元)	大理石・麻・鉄	235.0 × 95.0 × 55.0

### 第4展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
32	峯田敏郎	唄う女	1972(昭和47)	F R P	72.0 × 60.0 × 3.0
33	峯田敏郎	北国	1975(昭和50)	ブロンズ	55.0 × 38.5 × 10.5
34	峯田敏郎	手形学園町	1978(昭和53)	石膏	65.0 × 91.5 × 16.0
35	峯田敏郎	おんなー函館ー	1991(平成3)	テラコッタ	100.0 × 29.0 × 21.0
36	峯田敏郎	おんなー沖縄ー	1991(平成3)	テラコッタ	99.0 × 31.0 × 29.0
37	峯田敏郎	記念撮影ー私の住んだ街ー	1972(昭和47)	木(カツラ・ベニマツ)	260.0 × 55.0 × 55.0
38	峯田敏郎	記念撮影ー堀ー	2000(平成12)	木(クスノキ)、着彩	70.0 × 145.0 × 60.0
39	峯田敏郎	記念撮影ー壁ー	2006(平成18)	銅、木(カツラ・ベニマツ)、着彩	180.0 × 51.0 × 127.5

### 関連記事

#### 【新聞・雑誌等】

『秋田魁新報』 すいよう学芸館 美を知る147	2/16
『読売新聞』	2/23
『陸奥新報』 文化欄	2/25
『河北新報』 文化欄	3/29
『marimari』 「アート探訪」	4/1



展示室の様子



i. 2021コレクション展 第I期  
アートにみるイキモノたち

会期：2021(令和3)年4月14日(水)～7月11日(日) 【89日間】

担当：鈴木秀一

※ 秋田蘭画の展示替え 佐竹曙山 《松に唐鳥図》4/14～5/25  
小田野直武 《写生帖》 5/27～7/11



第1展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	佐竹曙山	松に唐鳥図(重文/寄託)		絹本着色 軸装	173.0 × 58.0
2	小田野直武	写生帖	1770年代(1777頃)	紙本着色(1冊)	36.3 × 26.7
3	平福百穂	群鴉	1917(大正6)	紙本金地墨画 2曲1隻	172.7 × 170.2
4	福田豊四郎	山脈(からす)	1941(昭和16)	紙本着色 2曲1隻	216.5 × 178.0
5	高橋萬年	馬屋		紙本着色 2曲1隻	173.0 × 173.0
6	高橋萬年	農夫	1940(昭和15)	紙本着色 6曲1隻	169.0 × 453.0
7	酒井三良	残照	1923(大正12)	絹本着色 軸装	136.0 × 112.0
8	松本弘二	雄物川の冬	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	91.0 × 116.7
9	梅津祐司	Earth 1	1980(昭和55)	リトグラフ 紙	67.0 × 85.0
10	勝平得之	<秋田風俗十題>うまや	1940(昭和15)	木版 紙	29.0 × 40.4
11	大野源二郎	粉碎作業	1953(昭和28)	ゼラチン・シルバープリント	13.5 × 20.0
12	大野源二郎	田搔きの夫婦	1952(昭和27)	ゼラチン・シルバープリント	13.5 × 20.0
13	大野源二郎	牛耕	1954(昭和29)	ゼラチン・シルバープリント	13.5 × 20.0
14	大野源二郎	むしろ織り	1956(昭和31)	ゼラチン・シルバープリント	13.5 × 20.0
15	千葉禎介	少年	1950年代	ゼラチン・シルバープリント	30.2 × 22.2
16	千葉禎介	吹雪く日の馬	1952(昭和27)	ゼラチン・シルバープリント	31.0 × 25.5
17	三森山静	蘆に小禽		絹本着色 軸装	125.0 × 48.0
18	小野崎大凌	秋草小禽		絹本着色 軸装	106.5 × 35.5
19	平福百穂	柏子雀		紙本墨画淡彩 軸装	139.0 × 33.5
20	平福百穂	空庭喜雀	1921(大正10)	紙本着色 軸装	155.0 × 54.0
21	ファッツィーニペリクレ	後脚で立つ馬	1972	ブロンズ	39.5 × 23.0 × 10.5

第2展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
22	寺澤孝太郎	七面鳥		紙本着色 軸装	66.0 × 62.0
23	平福百穂	鳳仙花と七面鳥	1914(大正3) 頃	紙本着色 6曲1隻	162.5 × 345.2
24	小野崎大凌	春秋遊鹿花鳥図		絹本着色 6曲1双	131.0 × 301.8
25	佐々木原善	花鳥図押絵貼屏風	1794(寛政6)	紙本着色 6曲1双	180.0 × 379.0
26	平福百穂	蘆花翡翠	1929(昭和4)	紙本墨画淡彩 軸装	27.7 × 30.0
27	平福百穂	古柏栗鼠		絹本着色 軸装	135.5 × 45.0
28	小杉放菴	黒真珠	1935(昭和10)	紙本着色 額装	46.3 × 55.5
29	三浦明範	朝の祭壇	1989(平成元)	油彩 テンペラ キャンバス	162.2 × 130.3
30	三浦明範	消し忘れたランプ	1988(昭和63)	油彩 テンペラ キャンバス	162.2 × 193.3
31	樫尾直	向かう	1988(昭和63)	油彩、キャンバス	130.3 × 194.0
32	山形八郎	岬のコンポジションII	2000(平成12)	油彩、キャンバス	162.0 × 194.0
33	河津五郎	蜥蜴	1946(昭和21)頃	木彫 着色	3.7 × 24.4 × 3.3
34	河津五郎	鼠	1946(昭和21)頃	木彫	4.9 × 16.5 × 6.5
35	河津五郎	茄子に飛蝗	1946(昭和21)頃	木彫 着色	8.0 × 19.0 × 6.3
36	河津五郎	蛙	1949(昭和24)頃	木彫 着色	3.7 × 7.3 × 6.4
37	河津五郎	栗鼠	1972(昭和47)頃	木彫 着色	41.0 × 10.7 × 14.0
38	河津五郎	鷹		木彫	42.7 × 14.5 × 19.5

第3展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
39	佐々木裕久	幻視断層一宙	1989(平成元)	紙本着色 4曲1隻	160.0 × 324.0
40	佐々木裕久	鳥徳考一瞑	1978(昭和53)	紙本着色 額装	117.5 × 91.5
41	佐々木裕久	鳥徳考一韻	1979(昭和54)	紙本着色 額装	166.7 × 237.0
42	佐々木裕久	鳥徳考一叫	1985(昭和60)	紙本着色 額装	90.5 × 116.6
43	中村征夫	ザトウクジラの母子		写真パネル	104.5 × 152.0
44	中村征夫	ホオジロザメ		写真パネル	104.5 × 152.0
45	中村征夫	クマササハナムロ		写真パネル	104.5 × 152.0
46	中村征夫	フサギンボ		写真パネル	152.0 × 104.5
47	中村征夫	アオリイカ		写真パネル	152.0 × 104.5
48	中村征夫	ミズクラゲとダイバー		写真パネル	104.5 × 152.0
49	中村征夫	ウコンハネガイ		写真パネル	90.0 × 60.0
50	中村征夫	ホヤの仲間		写真パネル	90.0 × 60.0
51	中村征夫	テマリクラゲの仲間		写真パネル	90.0 × 60.0
52	中村征夫	夜光虫		写真パネル	90.0 × 60.0
53	中村征夫	ヘイケボタル		写真パネル	90.0 × 60.0

関連記事 【新聞・雑誌等】『秋田魁新報』すいよう学芸館 美を知る 108 4/11

ii. 2021コレクション展 第Ⅱ期  
 美のしくみ ～工芸セレクションほか～

会期：2021(令和3)年7月14日(水)～10月11日(日) 【90日間】

担当：藤井正輝 ギャラリートーク：7/17(14:00～)

※ 秋田蘭画の展示替え 田代忠国・佐竹義躬 《紅毛玻璃器図》 7/14～ 8/25  
 小田野直武 《不忍池図》 8/26～ 10/11



第1展示室「工芸セレクション」

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	井上良斎	山水壺 (平福百穂絵付け)	1921(大正10)	焼ペ (やきしめ)	33.3×径30.7
2	高橋千代三郎	飾り箱	制作年不詳	真鍮・樺 (けやき)	12.0×22.5× 6.5
3	高橋千代三郎	宝飾箱	1966(昭和41)	漆・アルミ	18.5×27.0×15.0
4	高橋千代三郎	照明具	1969(昭和44)	杉・銅板	25.0×90.0×18.0
5	古関六平	散華聴来	1988(昭和63)	ケミカルウッド・漆	51.0×33.0×22.0
6	古関六平	葱菴存	1983(昭和58)	ケミカルウッド・漆	28.0×46.0×46.0
7	古関六平	蒼穹への誘い'99	制作年不詳	ケミカルウッド・夜光貝・白鳥貝	45.0×50.0×22.5
8	佐々木英	箭蒔絵平棗	1982(昭和57)	研出蒔絵/樺・螺鈿	5.5×径7.8
9	佐々木英	彩切貝ぶどう文線文雪吹	1984(昭和59)	桜・彩切貝	7.8×径7.3
10	佐々木英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	銅・キハダ・彩切貝	20.0×径15.5
11	佐々木英	蒔絵彩箱「萌春」	1977(昭和52)	研出蒔絵/桐・彩切貝	16.0×11.0×22.0
12	関谷四郎	古代瓦文銀ボンボン入れ	1981(昭和56)	鍛金・金ふるび/銀	5.7×径9.0
13	関谷四郎	銀野草文香炉	1985(昭和60)	鍛金・彫金・鍍金/銀・金	12.0×径10.8
14	関谷四郎	花器(ばら文花器)	1985(昭和60)	鍛金・鍍金/銅・金	29.5×21.5×15.1
15	関谷四郎	壺	1984(昭和59)	鍛金・鍍金/銀・金	35.0×径21.0
16	関谷四郎	銀打出水指	1984(昭和59)	鍛金・鍍金/銀・金	12.0×径21.5
17	関谷四郎	銀打出釜	1985(昭和60)	鍛金・鍍金/銀・金	18.5×径22.5
18	関谷四郎	鉄壺	1976(昭和51)	鍛金・鍍金/鉄・金	26.5×径26.5
19	関谷四郎	銅鉄接合花瓶	1983(昭和58)	接合・鍛金・鍍金/銅・鉄・金	19.0×27.3×27.3
20	関谷四郎	黒銅金彩花瓶	1980(昭和55)	鍛金・鍍金/黒銅・金	20.5×径20.5
21	関谷四郎	接合横線壺	1968(昭和43)	接合・鍛金・鍍金/鉄・銅・金	20.0×径20.0
22	関谷四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭和58)	接合・鍛金・鍍金/赤銅・銀・銅・金	7.0×径30.0
23	関谷四郎	金彩花瓶	制作年不詳	鍛金・鍍金/銅・金	25.0×径18.0
24	関谷四郎	金彩壺	1983(昭和58)	鍛金・鍍金/銅・金	25.0×径18.8
25	関谷四郎	金彩壺	1976(昭和51)	鍛金・鍍金/銅・金	31.0×径17.0
26	関谷四郎	金彩壺	1982(昭和57)	鍛金・鍍金/銅・金	25.0×径18.0

第2展示室「日本画セレクション」

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
27	鈴木空如	鳥獸戯画模写	制作年不詳	紙本墨画 1巻	26.0×533.0
28	鈴木空如	古画「新羅明神像」模写	制作年不詳	紙本墨画 淡彩 軸装	155.0×81.0
29	田代忠国・佐竹義躬	紅毛玻璃器図	1770年代	絹本着色 軸装	37.0×53.0
30	小田野直武	不忍池図(重文)	1770年代	絹本着色 額装	98.5×132.5
31	寺崎廣業	不忍池畔	1894(明治27)	絹本着色 軸装	49.1×67.8
32	寺崎廣業	美人観月図	制作年不詳	絹本着色 軸装	118.5×50.5
33	平福穂庵	岩に鶯	制作年不詳	紙本淡彩 軸装	103.4×58.4
34	平福穂庵	軍鶏	1886(明治19)	絹本墨画 淡彩 軸装	134.8×55.7
35	平福穂庵	墨堤舟遊	1887(明治20)	絹本着色 軸装	127.5×55.0
36	平福穂庵	祐天上人霊夢	1889(明治22)	絹本着色 軸装	123.0×53.0
37	平福百穂	翡翠	制作年不詳	絹本着色 軸装	135.5×41.3
38	平福百穂	武尊誅梟帥図	1893(明治26)	紙本着色 軸装	81.0×133.0
39	平福百穂	七面鳥	1914(大正3頃)	紙本墨画 淡彩 2曲1隻	182.2×64.8
40	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948(昭和23)	紙本着色 3曲1隻	179.3×222.4
41	福田豊四郎	雪を描く男	1929(昭和4)	紙本着色 額装	77.6×109.5
42	福田豊四郎	軍鶏	1954(昭和29)	絹本着色 額装	89.5×63.7
43	高橋萬年	田	制作年不詳	紙本着色 2曲1双	168.8×170.2
44	高橋萬年	刈り上げ	1953(昭和28)	紙本着色 軸装	169.0×169.4
45	町田曲江	哀愍	1936(昭和11)	絹本着色 額装	229.0×113.6(右) 229.0×71.0(左)
46	河津胖子	訶梨帝母	制作年不詳	紙本着色 額装	227.3×181.8
47	河津胖子	踊り子	1996(平成8)	紙本着色 額装	220.0×175.0
48	河津五郎	十一面観音像	制作年不詳	木彫	29.5×8.5×8.3
49	河津五郎	弥勒菩薩半迦思惟像	制作年不詳	木彫	61.5×27.5×27.0

第3展示室「洋画・彫刻セレクション」

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
50	高田博厚	腰掛ける女	1975(昭和50)	ブロンズ	52.5×27.0×35.0
51	高田博厚	裸婦(エスキース)	1980(昭和55)	パステル、紙	32.6×32.8
52	高田博厚	うずくまるトルソ	1966(昭和41)	ブロンズ	26.5×24.0×25.0
53	高田博厚	裸婦立像(タルを持つ)	1963(昭和38)	ブロンズ	75.5×23.5×25.0
54	馬場彬	Relation 1	1963(昭和38)	油彩/キャンバス	91.0×91.0
55	高橋功	永遠からの振動(白)	1993(平成5)	油彩/合板・木	92.0×110.0
56	金子義償	水景	1996(平成8)	油彩/キャンバス	30.3×162.1
57	三浦明範	BREAKFAST	1991(平成3)	油彩・テンペラ/キャンバス	93.3×162.2
58	紺野五郎	いくつかの出会い	1982(昭和57)	油彩/キャンバス	162.1×261.0
59	峯田敏郎	記念撮影-異人館・阿仁-(エスキース)	2004(平成16)	色鉛筆、紙	26.6×38.7
60	峯田敏郎	記念撮影-異人館・阿仁-	2004(平成16)	樟・彩色・銅・真鍮	168.0×140.0×95.0
61	峯田敏郎	記念撮影-異人館-	2003(平成15)	樟・彩色	45.0×34.0×20.0

関連記事 【新聞・雑誌等『秋田魁新報』すいよう学芸館 美を知る 119 7/21

### iii. 2021コレクション展 第Ⅲ期 エスキース(esquisse) ～スケッチの魅力

会期：2021(令和3)年10月14日(木)～2022(令和4)年1月11日(火) 【61日間】

※会期中の休館日 2021(令和3)年12月29日～31日

担当：木村雅洋

※ 秋田蘭画の展示替え 小田野直武 《岩に牡丹図》 10/14 ～ 11/24  
佐竹義躬 《岩に牡丹図》 11/25 ～ 1/11



#### 第1展示室 エスキース(esquisse)～スケッチの魅力①

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	平福百穂	潤泉	1931(昭和6)	絹本着色 軸装	133.5×35.5
2	平福百穂	潤泉(未完)	1931(昭和6)頃	絹本墨画 軸装	134.5×35.4
3	平福百穂	松籟泉聲	-	絹本墨画淡彩 軸装	137.8×41.7
4	平福百穂	松籟泉聲(未完)	-	絹本墨画 軸装	137.8×41.7
5	高橋萬年	「田植」スケッチ	-	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	25.0×35.5
6	高橋萬年	「田植」スケッチ(4点)	-	紙・鉛筆、水彩	23.5×27.8右下 31.1×23.5左上 23.8×31.1右下 23.5×30.0左下
7	高橋萬年	田植【大下図】	1938(昭和13)	紙本墨画着色 4曲1隻	166.5×334.5
8	横山津恵	四季の女性像スケッチ	-	紙・鉛筆、ペン、パステル	24.1×33.0
9	横山津恵	浜ひるがお	1986(昭和61)	紙本着色 額装	146.0×70.1
10	横山津恵	「浜ひるがお」エスキース	-	紙・鉛筆	33.0×24.1
11	横山津恵	苗の頃	1958(昭和33)	紙本着色 額装	175.7×211.2
12	横山津恵	農婦スケッチ(2点)	1957(昭和32)	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	各35.8×25.2
13	横山津恵	農婦スケッチ(2点)	1957(昭和32)	紙・鉛筆、色鉛筆	各35.8×25.2
14	横山津恵	「五月の花」エスキース	-	紙・鉛筆、色鉛筆、パステル	24.0×33.0
15	横山津恵	「五月の花」エスキース	-	紙・鉛筆、パステル	24.0×30.1
16	横山津恵	五月の花	1974(昭和49)	紙本着色 額装	172.3×217.5
17	福田豊四郎	月夜	1954(昭和29)	紙本着色 4曲1隻	166.7×257.5
18	福田豊四郎	「月夜」エスキース	-	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	21.6×37.9
19	福田豊四郎	「月夜」男性スケッチ	-	紙・鉛筆	26.7×38.1
20	福田豊四郎	「月夜」太鼓を叩く人 スケッチ	-	紙・鉛筆	38.1×26.7
21	福田豊四郎	「月夜」農婦スケッチ	-	紙・鉛筆	38.1×26.7
22	福田豊四郎	「雪国」エスキース	1968(昭和43)	紙・鉛筆、墨、水彩	20.6×28.9
23	福田豊四郎	山河	-	紙・木版	15.4×33.0
24	福田豊四郎	雪国	1968(昭和43)	紙本着色 4曲1隻	168.7×255.6
25	福田豊四郎	二ツ井町・きみまち坂あたり	-	紙・鉛筆、水彩	各37.1×27.7
26	福田豊四郎	「濤」エスキース	-	紙・鉛筆	31.2×38.0
27	福田豊四郎	「濤」エスキース	-	紙・クレパス、水彩	31.2×38.0
28	福田豊四郎	「濤」エスキース	-	紙・クレパス、水彩	38.0×54.0
29	福田豊四郎	濤	1956(昭和31)	絹本着色 4曲1隻	167.7×255.3

#### 第2展示室 エスキース(esquisse)～スケッチの魅力②

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
30	桜庭藤二郎	雪の溪流スケッチ	1957(昭和32)	紙・鉛筆	45.5×52.8
31	桜庭藤二郎	溪	1979(昭和54)	紙本着色 額装	106.0×106.0
32	桜庭藤二郎	北海	1967(昭和42)	紙本着色 額装	175.4×221.4
33	桜庭藤二郎	「北海」スケッチ	1967(昭和42)	紙・コンテ、水彩	38.0×53.5
34	桜庭藤二郎	「北海」スケッチ	1963(昭和38)	紙・コンテ、水彩	38.0×53.5
35	桜庭藤二郎	山河	1983(昭和58)	紙本着色 額装	208.8×164.3
36	桜庭藤二郎	「山河」エスキース	-	紙・コンテ、墨、水彩	44.6×37.5
37	伊藤弥太	「象潟の初夏」エスキース	-	紙・木炭	24.0×33.0
38	伊藤弥太	象潟の初夏	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	130.3×162.1
39	伊藤弥太	地平線	-	紙・木炭、墨	26.0×18.0
40	伊藤弥太	作品I	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	130.3×97.0
41	金沢秀之助	「裸婦」画稿	-	紙・水彩、パステル	47.0×64.0
42	金沢秀之助	裸婦	1958(昭和33)頃	油彩、キャンバス	90.9×116.7
43	紺野五郎	「留守家族-発車時刻」エスキース	1974(昭和49)頃	油彩、ペーパーキャンバス	52.0×34.0
44	紺野五郎	留守家族-発車時刻	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	193.9×130.3

45	紺野五郎	「bye-bye」エスキース	1980(昭和55)	紙・鉛筆、色鉛筆	51.8×36.5
46	紺野五郎	bye-bye	1981(昭和56)	油彩、キャンバス	162.1×130.3
47	紺野五郎	三裸婦立つ場合	1964(昭和39)	油彩、ベニヤ板	181.8×227.3
48	紺野五郎	「三裸婦立つ場合」エスキース	1963(昭和38)	紙・透明水彩	37.8×46.6
49	斎藤寅彦	第71回旺女展出品作のためのエスキース	2005(平成17)	紙・鉛筆、水彩	75.3×50.8
50	斎藤寅彦	時の跡2005	2005(平成17)	油彩・テンペラ、キャンバス	227.3×162.0
51	斎藤寅彦	「時の跡—繋ぐ—」エスキース	2007(平成19)	紙・鉛筆、水彩、ジェッソ	54.2×38.2
52	斎藤寅彦	時の跡—繋ぐ—	2007(平成19)	油彩・テンペラ、キャンバス	162.0×130.3
53	斎藤寅彦	時の跡・イソヒヨドリ	2012(平成24)	油彩・アキーラ、キャンバス	116.7×91.0
54	斎藤寅彦	「イソヒヨドリ」エスキースNo.1	-	紙・色鉛筆	39.5×54.7
55	斎藤寅彦	「イソヒヨドリ」エスキースNo.2	-	紙・色鉛筆	51.0×36.2

### 第3展示室 自然へのまなざし～観察する「眼」・表す「手」

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
56	長山孔寅	鹿猿図		絹本着色 軸装	127.0×54.0
57	小田野直武	岩に牡丹図	1770年代	絹本着色 額装	48.3×72.7
58	佐竹義躬	岩に牡丹図	江戸時代(18世紀)	絹本着色 軸装	93.2×31.3
59	ヤン, ヨンストーン	動物図譜	1660年	銅版 書籍(2巻)	38.0×23.5
60	高橋萬年	桜	-	紙・鉛筆、水彩	37.8×28.0
61	高橋萬年	菊	-	紙・鉛筆、水彩	55.0×38.0
62	高橋萬年	亀	-	紙・鉛筆、墨	38.0×55.0
63	高橋萬年	ハタハタ	-	紙・鉛筆、水彩	38.5×54.5
64	高橋萬年	鯉	-	紙・鉛筆、墨	38.5×54.6
65	福田豊四郎	豆の花	-	紙・墨、水彩	40.1×28.1
66	福田豊四郎	ヒメヤママユガ	1922(大正11)	紙・墨、水彩	28.0×19.8
67	福田豊四郎	リス	1924(大正13)	紙・鉛筆	28.1×20.0
68	福田豊四郎	子雀	-	紙・鉛筆、水彩	18.6×28.4
69	福田豊四郎	イヌ	-	紙・鉛筆	28.0×37.6
70	福田豊四郎	鴛	-	紙・鉛筆、墨、水彩	34.1×38.8
71	福田豊四郎	及川	-	紙・鉛筆、墨、水彩	28.0×37.7
72	福田豊四郎	テッセン	1965(昭和40)	紙・鉛筆、水彩	39.4×54.6
73	奈良裕功	紋黄蝶、花虻、裏波小灰蝶・菊	1916(大正5)	紙本墨画着色	25.5×35.5
74	奈良裕功	菊	-	紙本墨画着色	28.0×36.9
75	奈良裕功	揚羽蝶	1926(大正15)	紙本墨画着色	25.1×34.0
76	奈良裕功	銀蜻蛉・蝸牛	1924(大正13)	紙本墨画着色	25.1×34.0
77	奈良裕功	塩辛蜻蛉	1920(大正9)	紙本墨画着色	24.2×32.7
78	奈良裕功	柘榴・首蠹斯	1934(昭和9)	紙本墨画着色	28.2×40.1
79	奈良裕功	鯛	1932(昭和7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6×57.5
80	奈良裕功	犬の親子	1932(昭和7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6×57.5
81	奈良裕功	満作(部分)	1928(昭和3)	紙・鉛筆、顔彩	27.7×36.9
82	奈良裕功	虫狩	1928(昭和3)	紙・鉛筆、顔彩	28.0×36.9
83	斎藤寅彦	印旛沼(春)	2005(平成17)	紙・鉛筆(パネル4枚組)	36.5×51.5
84	斎藤寅彦	野(山百合)	2012(平成24)	紙・墨	116.7×80.3
85	斎藤寅彦	野(野菊)	2012(平成24)	紙・墨	116.7×72.7
86	斎藤寅彦	早春 蔦の臺(B)	2012(平成24)	紙・鉛筆、水彩	54.7×39.3
87	斎藤寅彦	オクラ	2013(平成25)	紙・鉛筆、水彩	37.5×50.2
88	柴田安子	素描・クリンソウ	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	37.2×28.0
89	宮下勝行	題不詳(樹木)	2006(平成18)	紙・リトグラフ	35.5×43.6
90	宮下勝行	けいとう&ミミズク	2004(平成16)	紙・インク	20.7×14.0左 15.8×10.8中央 20.7×14.1右
91	宮下勝行	いのこづち・ひなたいのこづち	2007(平成19)	紙・インク	30.8×20.8左 14.8×10.0中央 30.7×20.5右
92	宮下勝行	さるのこしかけよりのぞむ、さるすべり&さるのこしかけ、さるめんえびねにくらむさるのこしかけ	2003(平成15)	紙・インク 紙・インク	20.5×14.0左上 21.5×17.5左下 14.5×9.7右上 22.2×15.0右下
93	宮下勝行	しだ(羊歯)	2002(平成14)		19.3×12.8左 14.0×9.2中 23.1×15.7右

【関連記事】【新聞・雑誌等】『秋田魁新報』すいよう学芸館 美を知る 133 10/27

iv. 2021コレクション展 第Ⅳ期  
春を迎える日本画

会期：2022(令和4)年1月22日(土)～4月10日(日) 【79日間】

担当：秋田達也

※ 秋田蘭画の展示替え 小田野直武《雷魚図》 1/22 ～ 3/2  
小田野直武《芍薬花籠図》 3/ 3 ～ 4/10



第1展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	西宮礼和	蕨の臺	—	紙本墨画淡彩	33.5×38.0
2	平福百穂	富貴之臺	1917(大正6)	絹本着色	141.7×50.3
3	鏑木清方	松と梅	1918(大正7)	絹本着色 2面	各169.0×176.0
4	平福百穂	富嶽図	1925(大正14)	紙本墨画淡彩	255.5×139.8
5	小川芋銭	富士	—	絹本墨画	127.5×42.3
6	平福百穂	富嶽暁霧	—	絹本着色	145.5×50.0
7	寺崎廣業	富士	—	絹本着色	53.0×76.0
8	横山大観	雲中富士(夏富士)	1915(大正4)	紙本金地着色 2曲1双	各169.0×178.0
9	牧野永昌	蓬莱山水	1818(文政元)頃	絹本着色	56.0×81.0
10	平福百穂	蓬莱山	—	紙本着色	149.6×46.4
11	小野崎大凌	蓬莱山水	—	絹本着色	120.0×42.3
12	高橋晁山	天保九如	—	絹本着色	124.0×41.4
13	福田豊四郎	晨汀	1940(昭和15)	紙本着色	216.5×302.3
14	辻九阜	乳虎	1897(明治30)	絹本着色	131.0×57.0
15	平福百穂	嘯帟	1925(大正14)	絹本墨画淡彩	166.5×57.0
16	平福穂庵	乳虎	1890(明治23)	絹本墨画淡彩	82.4×159.5

第2展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
17	高橋萬年	雪松	—	紙本着色	142.8×72.0
18	高橋萬年	白梅	—	紙本着色	85.5×107.0
19	下村観山	三保富士	1919(大正8)	絹本金地着色 6曲1双	各167.0×370.0
20	平福百穂	寒竹双鶴	1927(昭和2)	絹本金地着色 6曲1双	各166.2×362.2
21	平福百穂	老松	1916(大正5)	紙本墨画 2曲1双	各180.2×162.7
22	桜庭藤二郎	奥入瀬遅春	1980(昭和55)	紙本着色	173.0×216.0
23	桜庭藤二郎	山湖早春	1984(昭和59)	紙本着色	165.2×209.5
24	桜庭藤二郎	春浅し	1979(昭和54)	紙本着色	173.5×219.0
25	桜庭藤二郎	遅春	1976(昭和51)	紙本着色	226.5×182.0

第3展示室

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
26	福田豊四郎	春寒(人物)	1933(昭和8)	紙本着色	119.6×88.0
27	福田豊四郎	山春	1930(昭和5)	絹本着色 2面	各228.8×106.8
28	福田豊四郎	山菜	1955(昭和30)	紙本着色	41.0×51.0
29	西宮礼和	万年青	—	紙本着色 3幅対	各116.5×33.0
30	小田野直武	雷魚図【秋田蘭画】	1770年代	紙本着色	25.0×28.5
31	小田野直武	芍薬花籠図【秋田蘭画】	1770年代	絹本着色	94.5×21.0
32	長山孔寅	孔雀図	1817(文化14)	紙本着色	156.0×86.0
33	長山孔寅	梅下游興図	—	絹本墨画淡彩	62.5×150.0
34	倉田松濤	松樹梅樹	1924(大正13)	紙本墨画淡彩 対幅	各136.0×53.0
35	平福百穂	梅月相思	1932(昭和7)	絹本着色 対幅	各137.0×36.0
36	増田九木	梅	1831(天保2)	紙本墨画	159.5×95.5
37	小松均	春の最上川	1975(昭和50)	紙本墨画着色 2面	各94.0×368.0
38	渡部榮子	遅い春	1974(昭和49)	紙本着色	167.6×121.9
39	高橋清見	花明り	1994(平成6)	紙本着色	195.0×195.0

関連記事	【新聞・雑誌等】	【テレビ・ラジオ】
	『秋田魁新報』 すいよう学芸館 美を知る 146 2/9	
	『読売新聞』 2/23	
	『marimari』 アート探訪 3/4	
	『陸奥新報』 3/6	
	『北鹿新報』 3/31	
	NHK秋田放送局 ニュースこまち「秋野由美子のミュージアム散歩」 3/22	
	NHK仙台放送局 もりすた！ 3/31	

## 教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。

さらに美術館を第二の学校として活用する「あきたセカンドスクール推進事業」において、学校の授業としてカウントできる体験活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一部の事業が中止または延期となった（詳細は55ページを参照）



鑑賞の様子『没後50年 勝平得之』

## ● キンビ・創作体験プログラム

### 美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	日本画教室 果物を描く	10月2日(土) ～3日(日)	中学生以上 一般10名	大関智子 (秋田公立美術大学助教)	全2日	11名	小林 羽川
II	写真教室 デジタルネガからの鶏卵紙プリント	12月11日(土) ～12日(日)	中学生以上 一般10名	草薨裕 (秋田公立美術大学大学院助手)	全2日	2名	木村 小林

### みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	木の工作 つくろう！ぶんぼう アニマルズ！	7月25日(日)	小学生以上 一般10名	木村雅洋(当館学芸主事)	全1日	10名	木村 小林
II	楽しいな！版画でカレンダー	12月5日(日)	小学生以上 一般10名	藤井正輝(当館学芸主事)	全1日	14名	藤井 鈴秀

### きっずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	びじゅつかんでローラー遊び2	8月8日(日)	未就学児 各回10名	木村雅洋(当館学芸主事)	全1日 (2回)	38名	木村

※参加者数は保護者を含む

### 展覧会にちなんだワークショップ

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	カラクリボックスをつくってみよう	7月31日(土) 8月9日(月)		木村雅洋(当館学芸主事)	全2日 (4回)	120名	木村

## 美術館教室

### I. 日本画教室 果物を描く 10/2・3

秋田公立美術大学助教の大関智子先生を講師に迎え、全2日間の日程で開催した。今年は日本画の材料に特に注目し、古来から使われている「岩絵の具」のもととなる岩石やいろいろな膠（にかわ）コレクションを用意していただいた。魚の浮き袋から作る膠もあり、参加者は興味深く見ていた。水彩絵具と違う、岩絵の具の特徴を生かした混色も学びながら、麻紙を生かした素敵な作品を完成させていた。



### II. 写真教室 デジタルネガからの鶏卵紙プリント 12/11・12

秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科助手の草薙裕氏を講師に迎え、写真教室を開催した。鶏卵紙とは19世紀に一般的に使われていた、卵白を主な感光剤とした印画紙のことである。今回はこの鶏卵紙を再現し、美術館内の彫刻を撮影したデジタルネガから、セピア調の独特な風合いをもつ写真作品を制作してみた。

初めに写真の歴史と鶏卵紙についての講義を受け、印画紙作りから撮影、ネガの加工そしてプリントと、写真制作の基本を一通り体験してみた。スポットライトや現像液などの本格的な器具も使って、参加者同士が協力し写真を完成させることができたのは、とても良い経験になったと思う。これも講師の草薙氏による懇切丁寧な指導の賜物である。完成した作品は、ふれんどりーギャラリーで開催中だった草薙氏の写真展に並べて展示した



## みんなの教室

### I. 木の工作 つくろう！ぶんぼうアニマルズ！ 7/25

板材と棒材を中心に、木でテープカッターや定規、鉛筆削りといった文房具を作ってみる教室である。モチーフは動物や昆虫などの生き物とし、参加者は各自で何に使いたい用途を考えながら、それぞれのデザインを決めていった。夏休みの工作づくりのため、小学生とその親御さんが一緒に参加するケースが多いのも本教室の特徴である。中には初めにイメージした形では、テープカッターとして使いにくかったりバランスが悪かったりしたものもあり、親子で相談しながら調整してゆく場面も多かった。組み立てが終わったら、ヤスリがけしワックスを塗って完成となる。作業工程など実施内容にまだ見直しが必要な点があつたが、完成品を前にした子どもたちの満足そうな笑顔が印象的だったので、今後も修正を加えながら同教室を継続してゆく予定である。



## II. 楽しいな！版画でカレンダー2 12/6

銅版画、木版画、紙版画、ドライポイントなどなど、版画にも色々あるが、本教室で扱うのはスチレン版画である。食品トレーにも使われているスチレン板は加工が容易で、彫刻刀等の刃物を使わずに図柄を彫ることのできる安全で扱いやすい素材である。手順は、最初に輪郭線を彫って刷り、次に彫りを増やして別の色を重ねて刷り、最後さらに彫り込んで新たな色を重ねるという「彫り進み」の版画に挑戦した。前の色が完全に乾かないうちに別の色を重ねるため、刷り上がるまでどのような仕上がりになるか想像が付かないという面白さがある。2時間弱の教室で、それぞれのセンスが生かされた素敵なカレンダーができあがった。



## きつずあと

### I. びじゅつかんでローラー遊び2 8/8

美術館1階実習室の床に長いクラフト紙を敷き、ローラーを使って自由に色をのせてみる教室である。対象は未就学児で、自分の体よりもはるかに長い紙を前にして初めは若干緊張気味だった。ローラーを手にしていざ描き始めると大胆になり、体全体を動かしながらクラフト紙に様々な線をたくさん描いていった。前回同様ダンボールで作った立体や形も準備しておいたので、そちらにもどンドン色をのせてゆく。最初の説明と最後の後片付けを含めても1時間という短い時間ではあったが、休む間もなく次から次へとローラーで色を重ね、画面を埋め尽くしてゆく子どもたちのエネルギーには圧倒された。小さなお子さんにとっても、広い場所を使った大胆な創作活動は楽しく魅力的なので、美術館としてもコロナ下で困難な状況ではあるが、このような機会を引き続き提供してゆきたいと感じた。



## 展覧会にちなんだワークショップ

### I. カラクリボックスをつくってみよう 7/31 8/9

特別展「カラクリ展ー動くしくみが丸わかりー」にちなんだワークショップで、5階中央ホールを会場に2日で午前・午後2回の計4回開催した。展示されているカラクリ機構の中でも比較的単純な「回転」と「前後スイング」を題材に、ハンドルを回すことで参加者の描いた絵が回ったり揺れたりする、小さなカラクリボックスを作ってみた。カラクリの各パーツは事前に加工して作成マニュアルと一緒に袋詰めしておき、参加者は回転かスイングのどちらかを選んでカラクリを組み立てながら、画用紙にマジックや色鉛筆などでオリジナルの絵を描いて接着していった。夏休み中ということもあり、4回で計120名を超える参加者でにぎわった。親子連れがほとんどで、小さなお子さんが描いた絵をお父さんお母さんが一緒になって貼り付け、カラクリボックスを組み立ててゆくという、微笑ましい場面が多く見受けられた。





## ● ミュージアムコンサート

### I. 「山田朗子ピアノコンサート ～滝平二郎に思いを馳せて」

日 時 2021年10月17日(日)  
1回目… 11時00分～ 11時40分  
2回目… 13時30分～ 14時10分  
場 所 秋田県立近代美術館5階中央ホール  
出 演 山田 朗子  
観覧者数 82人



#### プログラム

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1 「夕焼け小焼け」(山田朗子編曲)        | 草川信       |
| 2 練習曲Op. 25-1「エオリアンハーブ」   | F. ショパン   |
| 3 ワルツ第6番Op. 64-1「子犬のワルツ」  | F. ショパン   |
| 4 愛の夢第3番                  | F. リスト    |
| 5 3つの演奏会用練習曲より第3曲「ため息」    | F. リスト    |
| 6 前奏曲集第1巻より第8曲「亜麻色の髪の乙女」  | C. ドビュッシー |
| 7 日本わらべうた・童謡メドレー (山田朗子編曲) |           |
| ・かなりや (童謡)                | 成田為三      |
| ・てるてる坊主 (童謡)              | 中山晋平      |
| ・かごめかごめ (わらべうた)           | 作曲者不詳     |
| ・ずいずいずっころばし (わらべうた)       | 作曲者不詳     |
| ・とおりゃんせ (わらべうた)           | 作曲者不詳     |
| ・たきび (童謡)                 | 渡辺茂       |

## ● 美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるため、当館特任館長が美術講座を8回実施した。  
詳細は次のとおりである。

### ◇美術館講座「特任館長講座」

#### 《 弥勒の世を寿ぐ—室町から桃山時代の美術と文化Ⅱ 風俗画の世界 》

「弥勒の世」とは長い戦乱を経験した人々が、後に訪れた平和を喜び評した言葉である。室町末～桃山時代に生み出された風俗画屏風を例に挙げ、生を謳歌する多くの老若男女の姿を画像入りで解説した。

講師：仲町啓子(秋田県立近代美術特任館長・実践女子大学文学部教授)

会場：秋田県立近代美術館6階研修室

全8回、延べ受講者数186名

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ① 6月 5日(土)   | 描かれた都—洛中洛外図屏風の世界 |
| ② 7月 10日(土)  | 参詣から遊楽へ—野外遊楽図    |
| ③ 8月 7日(土)   | ツワモノたちの風儀—武家風俗図  |
| ④ 8月 21日(土)  | 佳境を愛でる—名所風俗図     |
| ⑤ 9月 25日(土)  | 祭に興じる—祭礼図        |
| ⑥ 10月 16日(土) | かぶく人々—歌舞伎図       |
| ⑦ 11月 6日(土)  | 異国への眼差し—南蛮屏風と洋風画 |
| ⑧ 12月 4日(土)  | 閉ざされた遊郭—桃山風俗図の終焉 |

秋田県立近代美術館  
2021年度  
**美術館講座のご案内**

「弥勒の世」とは長い戦乱を経験した人々が、その後訪れた平和を喜び評した言葉です。そうした室町末～桃山時代に生み出された風俗画屏風には、生を謳歌する多くの老若男女が描き出されています。絵の中の白日夢のような世界をいっしょに楽しみましょう。  
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

講座名：特任館長講座  
《弥勒の世を寿ぐ—室町から桃山時代の美術と文化Ⅱ 風俗画の世界》

講師：仲町啓子(なかまちけいこ)  
(秋田県立近代美術館特任館長・実践女子大学文学部教授)


対象：学生、一般

場所：秋田県立近代美術館6階研修室

時間：午後1時30分～午後3時

受講料：無料

申し込み：不要(各回会場にて受付)

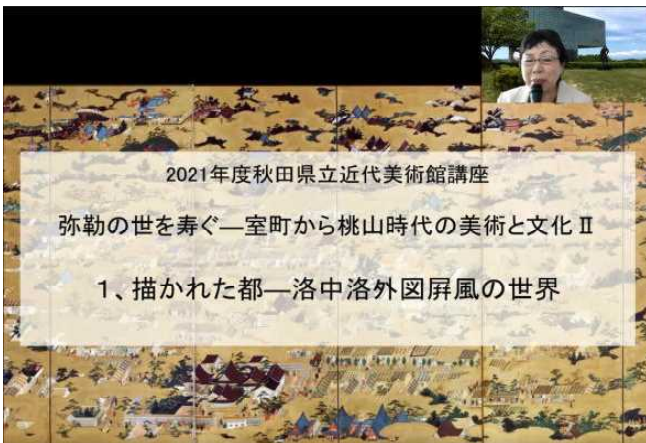
  
仲町啓子特任館長

期日・内容

- ① 6月 5日(土) 描かれた都—洛中洛外図屏風の世界
- ② 7月 10日(土) 参詣から遊楽へ—野外遊楽図
- ③ 8月 7日(土) ツワモノたちの風儀—武家風俗図
- ④ 8月 21日(土) 佳境を愛でる—名所風俗図
- ⑤ 9月 25日(土) 祭に興じる—祭礼図
- ⑥ 10月 16日(土) かぶく人々—歌舞伎図
- ⑦ 11月 6日(土) 異国への眼差し—南蛮屏風と洋風画
- ⑧ 12月 4日(土) 閉ざされた遊郭—桃山風俗図の終焉

※新型コロナウイルス感染防止のため、講座の中止、変更の可能性があります。詳しくは館内ホームページでご確認ください。電話等でお知らせ下さい。

◆お問い合わせ  
秋田県立近代美術館(秋田ふるさと村内)  
〒019-0064 秋田県横手市赤坂字番々62-46  
Tel:0182-33-8855 Fax:0182-33-8858  
E-mail:akita@mail.museum.ac.jp



リモートで特任館長講座の様子

## ● 出前美術館

### —Artが大館市にやってきた—

会 期：2021(令和3)年11月3日(水・祝)～11月7日(日)【5日間】

主 催：秋田県立近代美術館

共 催：大館市教育委員会

会 場：大館市扇田小学校

担 当：小林紀子、保泉充

入場者数：1,022名

「出前美術館」とは、広く県民の皆様に近代美術館所蔵の美術作品を鑑賞していただくことを目的として、来館が難しい地域に、近代美術館が出向いて開催する展覧会である。2021年度は、11月3日(水・祝)から7日(日)の5日間、大館市扇田小学校を会場に「出前美術館—Artが大館市にやってきた—」を開催した。

近代美術館所蔵品から、小田野直武、平福百穂、寺崎廣業ら秋田ゆかりの作家による日本画、油彩画、彫刻、工芸、写真、版画などあわせて25点を展示した。また、所蔵品を代表する秋田蘭画《不忍池図》(国指定重要文化財)のレプリカ(複製品)を展示し、じっくりと鑑賞していただいた。



### 作品リスト

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	小田野直武	不忍池図(レプリカ)	1770年代	絹本着色 額装	98.5×132.5
2	寺崎廣業	美人観月図	—	絹本着色 軸装	118.5×50.5
3	高橋萬年	鍾馗	—	絹本着色 軸装	119.0×57.0
4	平福百穂	磯千鳥	—	紙本墨画淡彩 軸装	130.0×32.5
5	福田豊四郎	氷原	1958(昭33)	紙本着色 額装	65.0×90.0
6	三浦明範	斜線の風景	1984(昭59)	油彩・テンペラ、キャンバス	162.2×193.3
7	斎藤寅彦	紙ふうせん	1991(平3)	油彩、キャンバス	227.3×162.0
8	勝平得之	<米作四題>耕土(春)	1952(昭27)	木版、紙	40.0×131.8
9	勝平得之	<米作四題>田植(夏)	1950(昭25)	木版、紙	40.0×131.8
10	勝平得之	<米作四題>刈あげ(秋)	1951(昭26)	木版、紙	40.0×131.8
11	勝平得之	<米作四題>堆肥運び(冬)	1949(昭24)	木版、紙	40.0×131.8
12	関谷四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭58)	接合・鍛金・鍍金・赤銅・銀・銅・金	径30.0×高7.0
13	関谷四郎	接合横線壺	1968(昭43)	接合・鍛金・鍍金・鉄・銅・金	径20.0×高20.0
14	佐々木英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭53)	銅・キハダ・彩切貝	径15.5×高20.0
15	佐々木英	蒔絵飾箱「海麗」	1974(昭49)	桐・玉虫貝・研出蒔絵	高13.0×10.0×20.0
16	野口裕史	天空伝説「風韻」	2004(平16)	銅	高60.0×160.0×76.0
17	工藤健	つまびくマンドーラ(小)	1991(平3)	ブロンズ	21.0×20.0×18.0
18	舟越保武	ANN	1983(昭58)	ブロンズ	32.0×19.0×25.0
19	大野源二郎	筏小学校(山内村)	1989(平元)	ゼラチン・シルバー・プリント	25.0×20.5
20	大野源二郎	筏小学校(山内村)	1989(平元)	ゼラチン・シルバー・プリント	25.0×20.5
21	大野源二郎	授乳	1953(昭28)	ゼラチン・シルバー・プリント	22.0×15.0
22	大野源二郎	老農夫	1963(昭38)	ゼラチン・シルバー・プリント	15.0×22.0
23	中村征夫	ノコギリダイ	—	写真パネル	60.0×90.0
24	中村征夫	カクレクマノミ(仮題)	—	写真パネル	60.0×90.0
25	松井如流	歌	—	紙本墨書 額装	90.0×90.0

## ● 出前美術展 能代エナジアムパーク 「峯田敏郎彫刻展－記念撮影 空気と風土－」

会 期：2021(令和3)年7月8日(木)～7月25日(日)【18日間】  
 ※休館日：7月12日(月)、7月19日(月)  
 主 催：東北電力(株)能代エナジアムパーク、秋田県立近代美術館  
 会 場：能代エナジアムパーク カルチャーホール  
 担 当：藤井正輝、鈴木秀一  
 入場者数：2,771名

9回目となる本展では、秋田大学で9年間教鞭を執られた、秋田にゆかりの深い彫刻家・峯田敏郎の作品を展示した。主に東日本で転勤を繰り返してきた峯田が、それぞれの土地で受けた印象を人物や静物と組み合わせたシリーズ「記念撮影」を中心に、彫刻作品6点とデッサン5点を展示した。デッサンのとり方には完成後の作品画像パネルを付けて一緒に紹介した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ギャラリートークについては行わないこととし、かわりにA4版4ページの作品解説を作成し配布した。18日間の会期中で、2,771名のお客様にご来場いただいた。



### 彫刻作品

No	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	記念撮影 ー女優Cー	2002(平成14)	樟(クスノキ)	50.0 × 30.0 × 25.0
2	記念撮影 ーいつもの海ー	1994(平成 6)	ブロンズ・紅松(ベニマツ)	80.0 × 80.0 × 30.0
3	記念撮影 ーそれぞれの日常ー	2014(平成26)	樟(クスノキ)・彩色	60.0 × 100.0 × 60.0
4	芝居は終わった	1981-82(昭和56-57)	桂(カツラ)	182.0 × 180.0 × 60.0
5	記念撮影 ー遠い日の風音・私のふるさとー	2013(平成25)	桂(カツラ)・真鍮(シチュウ)	170.0 × 110.0 × 90.0
6	記念撮影 ー内陸縦貫鉄道・初めての旅ー	2005(平成17)頃	樟(クスノキ)・桂(カツラ)・着色	124.8 × 106.5 × 67.0

### デッサン

No	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	記念撮影 ー壁ー	2006(平成18)	鉛筆・色鉛筆、紙	43.4 × 31.0
2	記念撮影 ー私の住んだ街ー	1990(平成 2)	鉛筆・色鉛筆・水彩、紙	53.2 × 37.1
3	デッサン(時の化石)		鉛筆・水彩、紙	48.3 × 66.5
4	記念撮影 ー石のある風景ー	1999(平成11)	鉛筆・色鉛筆・水彩、紙	66.5 × 47.5
5	デッサン(きのう・きょう・あした)	1996(平成 8)	鉛筆・水彩、和紙	71.5 × 53.2

● ネットワーク推進事業 (共催：秋田県立近代美術館・秋田県立図書館)

『ファッション・アワードー「装い」の表現ー』

会 期：2021(令和3)年12月10日(金)～2022(令和4)年1月25日(火)【47日間】

会期中の休館日：毎週水曜日、2021年12月28日(火)～2022年1月3日(月)

主 催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館

会 場：秋田県立図書館 2F特別展示室

展示作品：平福穂庵《墨堤舟遊》、小室怡々斎《桃太郎図》、高橋萬年《弁財天》、草薨興宗《若い婦人像》、橘小夢《留袖図案御所車に草花》  
ほか 計24点+資料

担 当：木村雅洋、秋田達也

入場者数：2,599人



作品リスト

No	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	高橋萬年	楠木正成(仮題)		紙本着色 軸装	60.0×70.9
2	高橋萬年	弁財天		絹本着色 軸装	124.8×50.4
3	小室怡々斎	桃太郎図		絹本着色 軸装	132.3×59.0
4	平福穂庵	墨堤舟遊	1887(明治20)	絹本着色 軸装	127.5×55.0
5	草薨興宗	若い婦人像		絹本着色 軸装	82.6×49.5
6	結城素明	不老富貴		絹本着色 軸装(対幅)	各127.0×41.8
7	橘小夢	留袖図案「御所車に草花」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	90.0×41.5
8	橘小夢	留袖図案「藤に秋草」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	90.0×42.0
9	橘小夢	王朝絵巻(仮題)	昭和期	名古屋帯仕立	巾30
10	橘小夢	立雛		紙本着色 軸装	35.0×43.0
11	柴田安子	松方浮世絵版画模写図 「石川豊信 佐野川市松」	1960(昭和35)頃	紙・墨	40.0×28.0
12	柴田安子	松方浮世絵版画模写図 「釣狐」(仮題)		紙・墨	28.0×19.1
13	勝平得之	雪国の子どもたち	1943(昭和18)	木版・紙	39.7×81.1
14	福田豊四郎	田園七曜集(土拓く)	1934(昭和9)	紙本着色 額装	66.6×70.5
15	横山津恵	野	1976(昭和51)	紙本着色 額装	97.0×103.2
16	横山津恵	沖縄の踊り子	1979(昭和54)	紙本着色 額装	97.5×103.3
17	長瀬直諒	源氏物語	昭和期	紙本着色 軸装	150.0×78.0
18	長瀬直諒	古代衣裳 ヤマツチ(仮題)	昭和期	紙本着色	39.0×27.0
19	長瀬直諒	古代衣裳 ワダツミ(仮題)	昭和期	紙本着色	39.0×27.0
20	長瀬直諒	古代衣裳 雉鳴女(仮題)	昭和期	紙本着色	39.0×27.1
21	長瀬直諒	古代衣裳 丹塗矢(仮題)	昭和期	紙本着色	39.0×27.2

関連書籍資料

- 1 意匠世界(一) 澤九皐 画、梶田半古 校閲 1900(明治33) 精美会出版
- 2 意匠世界(二) 澤九皐 画、梶田半古 校閲 1900(明治33) 精美会出版
- 3 意匠世界(三) 澤九皐 画、梶田半古 校閲 1901(明治34) 精美会出版
- 4 橘小夢画集 橘小夢(画) 2015(平成27) 河出書房新書
- 5 版画(秋田の四季)勝平得之(作)、勝平新一(編集) 2001(平成13) 秋田文化出版
- 6 長瀬直諒ーその出逢った人々ー 宮越郷平 1996(平成8) アキタパーク美術館
- 7 写真でよむ昭和モダンの風景 1935～40 津金澤聰廣 2006(平成18) 柏書房
- 8 ビジュアル 日本の服装の歴史3 明治時代～現代 増田美子 2018(平成30) ゆまに書房
- 9 ようこそきもの世界へ An Introduction to kimono 長崎巖 2020(令和2) 東京美術
- 10 布のちから 布のわざ 国立歴史民俗博物館 1998(平成10) 国立歴史民俗博物館

関連記事：【ラジオ】 エフエム秋田 「秋田県からのお知らせ」 12/24  
エフエム秋田 「mix(シェアミックスのコーナー)」 1/11

## ● ふれんどりーギャラリー

### 「齋藤罔男 漆芸展」

60年にわたり、漆と付き合い、語り合ってきた漆芸家・齋藤罔男氏の作品29点を展示。

会 期：2021(令和3)年6月6日(日)～7月4日(日) 【29日間】

担 当：小林紀子

※齋藤罔男氏に講師を依頼していた工芸教室は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。



約60年にわたり、漆と付き合い、語り合ってきた漆芸家・齋藤罔男氏の作品29点をご紹介します。

会期 令和3年6月6日(日)から7月4日(日)まで  
 時間 9時30分から17時まで(最終入館16時30分)  
 会場 秋田県立近代美術館5階ふれんどりーギャラリー

※日曜・月曜・祝日の休館日  
 無料観覧の作品も多数あり  
 工芸教室の申込受付は2021年5月31日

秋田県立近代美術館  
 〒030-0004  
 秋田県横手市由良字宮・2502-40(秋田5-22-21内)  
 電話 0182-233800 FAX 0182-233808  
 E-mail akitaana@accn.ac.jp Twitter @akitaana

#### 作品リスト

No	作品名	No	作品名
1	器 堆漆	16	器 深光
2	乾漆丸盆	17	器 宙の迷い
3	丸盆 渦舞	18	飾箱 山河
4	椿蒔絵	19	飾箱 夕映え
5	葡萄蒔絵	20	飾箱 光彩
6	牡丹蒔絵	21	文庫 渦
7	手板各種蒔絵技	22	文庫 コスモ
8	花器 連	23	文庫 河景
9	オブジェ 連峰	24	硯箱 堆漆
10	五段丸重	25	色紙入れ 牧場
11	棗(なつめ) 堆漆	26	筆入れ箱 山岳
12	棗(なつめ) 螺鈿張り	27	六角飾箱 卵殻草模様
13	香合	28	飾箱 山樹景
14	茶筒	29	飾箱 連峰
15	茶筒(卵殻 銀張り)		

### 「大関智子 #garden」

日本画教室「果物を描く」の講師・大関智子氏の作品を展示

会 期：2021(令和3)年9月26日(日)～10月17日(日) 【22日間】

担 当：小林紀子、羽川尚

#### 作品リスト

No	作品名	技法材質	寸法(cm)
1	「one」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	116.7 × 116.7
2	「sign」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	60 × 200
3	「sign」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	60 × 200
4	「sign」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	60 × 200
5	「スミハ」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	60 × 60
6	「スミハ」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	60 × 60
7	「garden」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠、鉛筆	60.6 × 80.3
8	「garden」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠、鉛筆	60.6 × 80.3
9	「garden」	パネル、雲肌麻紙、岩絵具、膠	80.3 × 80.3

### 大関智子 #garden



2021年9月26日(日)～10月17日(日)  
 9:30-17:00(最終入館16:30)  
 秋田県立近代美術館5階 ふれんどりーギャラリー 観覧無料

秋田県立近代美術館  
 〒030-0004  
 秋田県横手市由良字宮・2502-40(秋田5-22-21内)  
 電話 0182-233800 FAX 0182-233808  
 E-mail akitaana@accn.ac.jp Twitter @akitaana

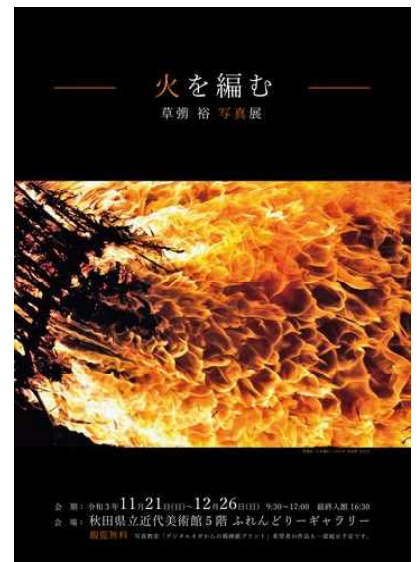
## 「草薨裕写真展 ー火を編むー」

写真教室「デジタルネガからの鶏卵紙プリント」の講師・草薨裕氏の作品を展示。

会 期：2021(令和3)年11月21日(日)～12月26日(日) 【36日間】

担 当：木村雅洋、羽川尚

※秋田県内で撮影された二つの火をテーマとしたシリーズ「火を編む」、「花火」を、インクジェットプリント、デジタル・ゼラチンシルバー・プリント、鶏卵紙プリントを併用し展示した。併せて写真教室参加者による「デジタルネガ」と「鶏卵紙」を使った作品も展示した。



### 作品リスト

作品名	点数	技法材質	寸法 (cm)
「火を編む」	9点	鶏卵紙プリント	各11.8 × 17.8
	9点	インクジェットプリント	各28.0 × 42.0
	1点	インクジェットプリント	68.8 × 103.0
「花火」	13点	デジタル・ゼラチンシルバー ・モノクロームプリント	各28.0 × 42.0

齋藤罔男 漆芸展 会場風景



大関智子 #garden 会場風景



草薨裕写真展 ー火を編むー 会場風景



## ● 美術館のセカンドスクールの利用

### ◇ 概況

	セカンドスクールの利用（教育課程内）										総利用校数	総利用人数		
	幼・保育園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校				その他	
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)			団体数	(人数)
4月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
5月	0	(0)	2	(37)	1	(171)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	208
6月	0	(0)	6	(167)	0	(0)	1	(17)	0	(0)	0	(0)	0	184
7月	0	(0)	5	(135)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(8)	6	143
8月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	(32)	6	(12)	0	(0)	8	44
9月	0	(0)	2	(52)	1	(5)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	3	57
10月	0	(0)	8	(309)	4	(123)	1	(26)	1	(129)	0	(0)	14	587
11月	3	(61)	27	(870)	2	(107)	1	(5)	1	(1)	0	(0)	34	1044
12月	0	(0)	5	(218)	0	(0)	1	(13)	0	(0)	0	(0)	8	403
1月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
2月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
3月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
小計	3園	61人	55校	1,788人	8校	406人	6校	93人	10校	314人	1団体	8人		
合計					82校	2,662人							83校・団体	2,670人

※参考

令和2年度	52校・団体	1,726人
令和元年度	98校・団体	2,904人
平成30年度	128校・団体	4,005人
平成29年度	112校・団体	3,746人

### ◇ 令和3年度セカンドスクールの利用校一覧

矢立小学校	大川西根小学校	横手南中学校	湯沢西小学校	北上市
扇田保育園	角間川小学校	朝倉小学校	三梨小学校	北上南中学校
金岡小学校	神岡小学校	旭小学校	川連小学校	気仙沼市
浜口小学校	清水小学校	浅舞小学校	雄勝小学校	唐桑中学校
湖北小学校	太田東小学校	吉田小学校	羽後中学校	
秋田令和高校	太田南小学校	雄物川小学校	高瀬小学校	出前美術館見学
下浜小学校	太田北小学校	大森小学校	東成瀬小学校	比内中学校
脇本第一小学校	横堀小学校	十文字小学校	栗田支援学校	扇田小学校
平和中学校	角館小学校	山内小学校	ゆり支援学校	西館保育園
南外中学校	六郷小学校	大雄小学校	横手支援学校	東館保育園
花館小学校	仙南小学校	稲川中学校	稲川支援学校	城南保育園
内小友小学校	横手清陵高校	湯沢東小学校	フレッシュひろば	

※その他の利用（部活動、教育課程外での利用） 専修学校・各種学校1校34人

### ◇ 利用の位置付け（教科等）

・図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

### ◇ 内容

・鑑賞体験…「展覧会鑑賞」「美術館探検」

### ◇ キンビ・アートカード 貸出数

・小学校1校（能代市立浅内小学校51セット）、中学校1校（横手市立平鹿中学校10セット） 計61セット



## ● 博物館実習

博物館法に基づき、学芸員の資格取得を目指す学生を受け入れる博物館実習を行った。昨年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状況だったため、人混み回避、マスクの着用、手洗い・検温の実施などの感染予防対策を十分に講じ、定員を6名までとしての実施となった。一般来場者を対象としたギャラリートーク実習は、今年度もギャラリーを実習生と当館職員数名程度とし、密にならないよう間隔をとった上で行った。当初の予定では、教育普及④「未就学児対象の美術館教室【つちねんどでドロンコアート】補助」を5日目の午前中に計画していたが、感染拡大防止の措置として教室の開催を中止としたことにより、急であったが直近の特別展「生誕100年 滝平二郎展」で使用する作品ラベルや特大バナーの作成、およびバナーの設置という実践的な展示実習とした。

( 実習生の所属大学と人数： 秋田公立美術大学2名、 盛岡大学2名、 東洋大学1名、 信州大学1名 )

### 2021(令和3)年度博物館実習計画

月日	時間	実習内容	場所
9月	10:00～11:00	オリエンテーション①「実習のねらい・日程・館の概要の説明」	図書室
	11:00～12:00	オリエンテーション②「館内見学」 ※彫刻の広場を含む	館内全体、彫刻の広場等
1日	12:00～13:00	昼休み	図書室
9月(水)	13:00～15:00	展示①「展示ができるまでの流れ」	図書室等
	15:00～16:00	ギャラリートーク準備①「内容説明、解説作品の選定」	6階展示室、図書室
	16:00～16:30	実習ノート整理 ※毎日提出	図書室
9月	10:00～12:00	教育普及①「セカンドスクールの利用【鑑賞活動】の補助」	5・6階展示室
	12:00～13:00	昼休み	図書室
9月2日(木)	13:00～14:00	教育普及②「アートカードについて」 ※講座・演習	図書室等
	14:00～16:00	展示②「滝平二郎展 展示準備」 ※作品ラベル作成	調査研究室、図書室
	16:00～16:30	実習ノート整理	図書室
9月	10:00～12:00	収藏品①「収集、保存、修復に関する実習」 ※作品の取り扱い	撮影室、第5収蔵庫
	12:00～13:00	昼休み	図書室
9月3日(金)	13:00～14:30	受付・監視業務補助①「カウンター受付、展示室内監視」	B1・5・6階カウンター、5・6階展示室
	14:30～15:30	収藏品②「収集、保存、修復に関する実習」 ※作品撮影	撮影室
	15:30～16:00	ギャラリートーク準備②「作家や作品についての調査」	図書室等
	16:00～16:30	実習ノート整理	図書室
9月	10:00～12:00	教育普及③「ボランティア活動体験」 ※彫刻清掃	彫刻の広場・小道・丘
	12:00～13:00	昼休み	図書室
9月4日(土)	13:00～14:30	受付・監視業務補助②「カウンター受付、展示室内監視」	B1・5・6階カウンター、5・6階展示室
	14:30～16:00	ギャラリートーク準備③「調査及び原稿作成」	図書室等
	16:00～16:30	実習ノート整理	図書室
9月	10:00～12:00	展示③「滝平二郎展 展示準備」 ※特大バナー作成	調査研究室、図書室
	12:00～13:00	昼休み	図書室
9月5日(日)	13:00～14:00	広報活動「SNSを活用した美術館のPR」 ※講義	図書室
	14:00～16:00	ギャラリートーク準備④「原稿作成、トーク練習等」	図書室等
	16:00～16:30	実習ノート整理	図書室
9月	10:00～11:00	展示④「展示準備」 ※バナー設置、直前展示会の撤収作業見学	中央ホール、5階展示室
	11:00～12:00	ギャラリートーク演習	6階展示室
9月6日(月)	12:00～13:00	昼休み	図書室
	13:00～15:00	実習のふりかえり	図書室
	15:00～16:00	実習ノートのまとめ、提出	図書室

## ● 美術館ボランティア AMC (アムック: Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1ヶ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員とAMC役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。



1 会員数 53名 (2022年3月1日現在)

### 2 活動内容

#### ① 展示室活動・案内活動

- i 館内案内、誘導(館内各施設、順路ほか)・身障者、老人、子供対応・団体の整理、誘導
- ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付(リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

#### ② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
- ii 図書・新聞等の資料整理

#### ③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等(図書資料室)
- iii 鑑賞学習会(ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

#### ④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動(展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物(AMC通信など)の作成・発行

#### ◆ おもな関連行事

- ① 役員会(13回)
- ② 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ③ 交流会(11/28)
- ④ 研修旅行(2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止)
- ⑤ 新会員オリエンテーション(随時)
- ⑥ 総会(2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)

# 収集事業

## 収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

## ● 美術品収集

### 美術品等収集状況(令和3年度末まで)

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	224	31	251	184	690
洋画	51	147	199	79	476
版画	11	60	286	67	424
水彩画	0	1	11	0	12
彫刻	121	12	76	6	215
工芸	29	0	10	1	40
デザイン	0	0	16	6	22
書	13	7	240	2	262
写真	3	0	230	0	233
素描・下絵等	20	0	212	11	243
国内その他資料	5	0	133	5	143
外国版画	0	0	0	2	2
外国彫刻	7	0	0	1	8
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合計	491	258	1,668	370	2,787

### 2021(令和3)年度収集

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
日本画	3		19		19
洋画			1		1
水彩画			2		2
書			24		24
国内その他資料			7		7
合計	3		53		56

### 購入による収集

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
1	日本画	福田豊四郎	滝	1955(昭和30)年	絹本着色屏風(四曲一隻)	168.0×256.0
2	日本画	福田豊四郎	囲炉裏	1935(昭和10)年頃	絹本着色、軸装	137.0×33.0
3	日本画	福田豊四郎	齒朶	1955(昭和30)年	絹本着色、軸装	87.0×67.0

### 寄贈による収集

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(縦×横cm)
1	日本画	寺崎廣業	紫式部石山寺観月図	明治20年代後半～30年代前半	絹本着色、額装	42.8×146.0
2	日本画	福田豊四郎	松	1939(昭和14)年	絹本着色、軸装	130.0×41.5
3	日本画	伊藤弥太	戯◆三昧(◆は判読不明文字)	制作年不詳	紙本墨画淡彩、軸装	90.8×33.5
4	日本画	伊藤弥太	初夏	1959(昭和34)年	紙本墨画淡彩、捲り	61.0×40.1
5	日本画	伊藤弥太	奈曾の白滝	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	69.2×41.6
6	日本画	伊藤弥太	十和田鱒図	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	48.2×50.9
7	日本画	伊藤弥太	酒盃図	1960(昭和35)年	紙本墨画淡彩、捲り	62.2×34.9
8	日本画	伊藤弥太	題不詳(十和田湖畔?)	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	45.8×47.4
9	日本画	伊藤弥太	十和田柿鱒図	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	47.0×43.5
10	日本画	伊藤弥太	十和田姫鱒	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	44.9×44.9
11	日本画	伊藤弥太	題不詳(梨、エビなど)	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	85.7×20.8

12	日本画	伊藤弥太	十和田湖御倉半島烏帽子岩秋色	1957(昭和32)年	紙本墨画淡彩、捲り	85.5 × 34.4
13	日本画	伊藤弥太	題不詳(十和田湖烏帽子岩?)	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	135.0 × 34.3
14	日本画	伊藤弥太	姉九才と弟七才が喧嘩はじめる～	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	75.0 × 34.0
15	日本画	伊藤弥太	十和田鱒柿	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	45.5 × 44.6
16	日本画	日下部鳴鶴	梅図	制作年不詳	●本墨画淡彩、軸装	横50.5
17	日本画	中村不折	王羲之図	制作年不詳	●本墨画淡彩、軸装	横46.5
18	日本画	中村不折	山水図	制作年不詳	●本墨画淡彩、軸装	横56.0
19	日本画	東嶺	鍾馗図	制作年不詳	●本墨画淡彩、軸装	横40.0
20	洋画	伊藤弥太	わが幼き日	制作年不詳	油彩・キャンバス	97.7 × 131.0
21	水彩画	伊藤弥太	— (色紙38点一式)	—	墨画淡彩・色紙	—
22	水彩画	伊藤弥太	コンポジション	制作年不詳	紙本墨画淡彩、捲り	33.3 × 40.6
23	書	比田井天来	地湧祥雲紅鶴舞 天開瑞雨白龍朝	制作年不詳	墨・紙、額装	49.6 × 34.2
24	書	比田井天来	稟靈亀之修寿～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横39.5
25	書	日下部鳴鶴	突兀巖塔頭高遠臺～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横62.5
26	書	日下部鳴鶴	禊序一篇～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横65.0
27	書	日下部鳴鶴	詩稿	制作年不詳	墨・紙、軸装	横36.5
28	書	赤星藍城	細々春～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横54.5
29	書	赤星藍城	豊葦原千五百～	制作年不詳	墨・紙、捲り	横34.5
30	書	犬養木堂	归来～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横53.0
31	書	内藤湖南	寒山句	制作年不詳	墨・紙、軸装	横51.5
32	書	巖谷一六	道通天地～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横43.0
33	書	巖谷一六	晚風～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横64.5
34	書	(諸岡)正胤	(秋田を詠んだ歌)	制作年不詳	墨・紙、軸装	横40.0
35	書	長三州	我皇天～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横69.5
36	書	廣澤慎	紅葉連村雨～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横63.0
37	書	中村不折	明張治登石鐘山望蘆山詩	制作年不詳	墨・紙、捲り	横56.0
38	書	前田黙鳳	各種金文・篆隸臨書	制作年不詳	墨・紙、捲り	横28.0
39	書	大野百鍊	杏花～	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
40	書	芦野楠山	篆書4行	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
41	書	松井如流	2行	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
42	書	土屋竹雨	(詩)	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
43	書	木村棲雲	春景(山水画)	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
44	書	木村棲雲	松	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
45	書	泉川白水	蘭	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
46	書	土崎龍山	2行	制作年不詳	墨・紙、軸装	横28.0
47	国内その他資料	(複数)	高田箕水宛書簡(354点一式)	—	封書、葉書など	—
48	国内その他資料	作者不詳	秋田県総合美術連盟(看板)	—	墨・木	—
49	国内その他資料	作者不詳	秋田書道同好会(看板)	—	墨・木	—
50	国内その他資料	作者不詳	北魏の弥勒下生像趺石	制作年不詳	墨・紙(拓本)、軸装	横70.0
51	国内その他資料	作者不詳	金光明四天王護国之寺	制作年不詳	墨・紙(拓本)、軸装	横68.5
52	国内その他資料	作者不詳	四坐蘭言	制作年不詳	墨・紙(拓本)、軸装	横61.5
53	国内その他資料	唐吳道子	孔子像 唐吳道子筆(拓本)	制作年不詳	墨・紙(拓本)、軸装	横62.5

## ● 図書資料

分類	令和3年度新収図書	分類別合計
一般図書	美術総記	9
	日本美術	14
	西洋美術	0
	東洋、その他の美術	0
	秋田資料	0
	関係諸学	9
所蔵品図録、研究報告、年報	214	6,383
展覧会図録	186	9,656
美術雑誌他	58	7,553
計	490	30,972

## 美術品保存

### ● 美術品保存・修復

実施期日：2021(令和3)年11月26日(金)

小泉 淳作「春を待つ鳥海山」

額左下に亀裂が入ったため、牛皮膠を注入後締金による固定をし、亀裂が広がらないようにした。

### ● 重要文化財等指定

#### 国指定重要文化財

No.	指定年月日	名称	備考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆）1面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆）3幅	

#### 秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名称	備考
絵 9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆）1幅	
絵17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1冊	
絵19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆）2幅対	
絵21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1幅	
絵22	平成17. 3. 22	平福穂庵筆 乳虎 1幅	
絵23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6曲1双	
絵24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1幅	
絵25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1幅	
歴21	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1帙2帖	
絵33	令和 4. 3. 29	平福穂庵筆 緑蔭清談 1幅	

## 燻 蒸

実施期日：2022(令和4)年1月13日(木)～1月19日(水) 【7日間】

燻蒸場所：5階展示室 総容積 4,596.0m<sup>3</sup>

実施業者：関東港業株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫 (2室)	1,281.8m <sup>3</sup>
3階収蔵庫 (3室)	2,091.0m <sup>3</sup>
5階展示室 (4室)	4,596.0m <sup>3</sup>
6階展示室 (3室)	2,890.8m <sup>3</sup>
地下1階一時保管庫	217.1m <sup>3</sup>

収蔵庫及び一時保管室に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、令和3年度は燻蒸を関東港業株式会社に委託し上記7日間にわたり、実施した酸化プロピレン (C<sub>3</sub>H<sub>6</sub>O) を気化器によりガス化投葉し、内部濃度を基準有効濃度48g/m<sup>3</sup>の基準として、48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行った。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

## 美術品の貸し出し

No	貸出先	展覧会名	貸出期間	作品名
1	平野政吉美術財団	常設展示	2019/05/16- 長期貸出	藤田嗣治「裸婦立像」など24点
2	副知事室		2021/5/28 -2021/7/27	中村征夫「カマスの仲間が交錯しながら」など2点
3	副知事室		2021/7/27 -2021/10/8	中村征夫「エダサンゴの森がどこまでも続いている」など2点
4	秋田市立千秋美術館	企画展「絵になる自然～生きとし生けるものへの賛歌～」	2021/8/24 -2021/11/9	小田野直武「富嶽図」など4点
5	東北歴史博物館	特別展「みちのく 武士が愛した絵画」	2021/9/18 -2021/12/10	小田野直武「唐太宗・花鳥山水図」など9点
6	副知事室		2021/10/8 -2021/12/3	中村征夫「十数匹がひとかたまりとなっているハタタテダイ」など2点
7	秋田県立美術館	特別展「生誕120年 木村伊兵衛回顧展」	2021/10/28 -2022/2/8	大野源二郎「種播き母子」など25点
8	秋田市立千秋美術館	コレクション展「画家たちのひみつ～絵画のレシピ～」	2021/11/9 -2022/1/28	三浦明範「朝の祭壇」など2点
9	副知事室		2021/12/3 -2022/2/22	中村征夫「レディエリオット島空撮」など2点
10	副知事室		2022/2/22 -2022/4/31	中村征夫「ブラックバタフライッシュ」など2点

## 仲町啓子

講 座 美術館講座「特任館長講座」《室町から桃山時代の美術と文化Ⅱ 風俗画の世界》 2021年6月～12月まで8回

## 保泉 充

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」堀文子「冬野の詩」「幻の花 ブルーポピー」 2022年3月30日

## 鈴木秀一

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」平福百穂「群鴉」、高橋萬年「馬屋」 2021年4月14日  
秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」安藤泉「楢円生活」、柳原義達「犬の唄」 2022年2月16日

## 木村雅洋

実技講座 みんなの教室「つくろう！ぶんぼうアニマルズ！」 2021年7月25日  
きっずあーと「びじゅつかんでローラーで遊び2」 2021年8月8日  
ワークショップ「カラクリボックスをつくってみよう！」 2021年7月31日、8月9日  
作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」ポール・スプーナー&マット・スミス「スパゲティを食べる男」、鈴木完吾「書き時計」 2021年6月30日  
秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」福田豊四郎「ニツ井町・きみまち坂あたり」、横山津恵「五月の花 エスキース」 2021年10月27日  
論 考 『秋田美術No. 58』 「秋田県立近代美術館における小学生と親子を対象とした教室の取り組み、およびその変遷について」 2022年3月

## 藤井正輝

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」コレクション展「美のしくみ」 2021年7月21日  
秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」 「没後50年 勝平得之」 2021年12月15日  
鼎 談 新春文化講演会 [第2部] 〈得之没後50年・2つの企画展のみどころ〉 於さきがけホール 2022年1月15日  
実技講座 みんなの教室 「楽しいな！版画でカレンダー」 2021年12月5日

## 小林紀子

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」上松松園「桜可里能図」、北野恒富「願い糸」 2021年5月5日  
講 座 県庁出前講座 No.179 講座名 キンビアートカードを使った鑑賞活動 醍醐公民館 2021年7月26日  
県庁出前講座 No.179 講座名 キンビアートカードを使った鑑賞活動 十文字西地区館 2021年8月3日  
県庁出前講座 No.179 講座名 キンビアートカードを使った鑑賞活動 横手市交流センター 2021年8月10日  
出前講座 湯沢高等学校（1年生） 2021年12月16日、17日

## 秋田達也

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」福田豊四郎「春寒（人物）」、平福百穂「富貴之臺」 2022年2月2日  
講 座 出前講座 湯沢高等学校（1年生） 2021年12月16日、17日  
研 究 公益財団法人鹿島美術財団 美術に関する調査研究助成  
委 員 国際浮世絵学会 理事・企画委員  
『日本近世美術研究』第四号 査読委員

## 鈴木 京

作品解説 秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」滝平二郎 哲学貫いた絵本制作 2021年9月22日  
秋田魁新報社 すいよう学芸館「美を知る」滝平二郎 古き時を追体験する 2021年9月22日  
作家解説 少年写真新聞社 小学図書館ニュース 物語を描いた画家 2021年10月18日  
講 座 県庁出前講座 No. 178 「あきたの美術～所蔵作品に見る秋田蘭画から近代まで～」 湯沢生涯学習センター 2020年6月16日  
県庁出前講座 No. 178 「あきたの美術～所蔵作品に見る秋田蘭画から近代まで～」 神岡中央公民館 2020年8月18日

## 阿部寿範

(秋田県立近代美術館長期研修員)  
資料作成 「2021年県内展覧会一覧」『秋田美術No. 58』 秋田県立近代美術館 2022年3月20日

## 刊行物

◆2020年度 秋田県立近代美術館年報 2021年6月発行 A4判 70頁

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 82 2021年9月30日発行 A4判 4頁

展覧会レポート： ときめく美人画展 培広庵コレクション  
カラクリ展 動くしくみが丸わかり  
2021コレクション展第1期 アートにみるイキモノたち  
2021コレクション展第2期 美のしくみ ～工芸セレクションほか～  
出前美術展 峯田敏郎彫刻展 ー記念撮影 空気と風土ー  
展覧会紹介： 生誕100年 滝平二郎展 出前美術館  
インフォメーション： 2021年度・下半期の事業

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 83 2022年3月30日発行 A4変型版 4頁

展覧会レポート： 生誕100年 滝平二郎展 ～ものがたりを描いた画家  
没後50年 勝平得之  
近美彫刻セレクション ー塊の生命力ー  
2021コレクション展 第3期 エスキース ～スケッチの魅力～  
2021コレクション展 第4期 春を迎える日本画  
出前美術館 Artが大館市にやってきた  
2021年度ネットワーク事業 ファッション・アワード ー「装い」の表現ー  
2021年度下半期のふれんどりーギャラリー展示  
トピックス： セカンドスクールの利用一覧  
2021年度・下半期のふれんどりーギャラリー展示、実施した教室、コンサート等  
インフォメーション： 2022年度・上半期の美術館事業

※ 秋田県立近代美術館ニュース『ARK(アーク)』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。(平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が「空中に浮遊する巨大な箱船」に見えることから命名された。

◆秋田美術 No. 58号 2022年3月20日発行 PDF配布のみ

寛政期の白雲—『萬覚書』と山水図から窺う 仲町啓子 (秋田県立近代美術館特任館長)

秋田県立近代美術館における、小学生を対象とした教室の取り組みについて

木村雅洋 (秋田県立近代美術館学芸主事)

2021年県内美術展開催一覧

阿部寿範 (秋田県立近代美術館長期研修員)

※ 秋田美術

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆2022年度行事案内リーフレット(年間スケジュール) 2022年3月発行 A4 2頁



# 入館状況

## 令和3年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	1,510	2,331	3,634	10,365	8,655	4,151	4,560	7,139	3,779	2,496	1,379	2,024	52,023

## 利用者数一覧表

事業別 区分	入館者	特別展入場者					企画展入場者			その他 ※(2)
		ときめく 美人画展	カラクリ展	生誕100年 滝平二郎展	没後50年 勝平得之	計	響きあう個性 ※(3)	近美彫刻 セレクション ※(4)	計	
開催期間	4/1(水) ～3/31(水)	4/24(土) ～6/20(日)	6/25(金) ～9/5(日)	9/11(土) ～11/14(日)	11/20(土) ～2/6(日)		2021/4/1(木) ～4/18(月)	2022/2/12(土) ～3/31(木)		
日数(日)※(1)	352	58	72	65	66	261	18	48	66	
利用者数(人)	52,023	2,729	16,429	9,237	1,479	29,874	979	2,977	3,956	18,193
一日平均(人)	148	47	228	142	22		54	62		
有 料	個人									
	一般・学生	1,331	10,344	5,372	790	17,837	-	-	0	0
	シルバー	389	-	-	175	564	-	-	0	0
	身障 一般・学生	115	337	256	-	708	-	-	0	0
	団体									
一般・学生	-	46	680	-	726	-	-	0	0	
合計		1,835	10,727	6,308	965	19,835	0	0	0	0

※(1) 日数は、年末休館(令和3年12月29日～31日)及びメンテナンス休館(令和4年1月12日～21日)を除く。

※(2) その他利用者数の内訳は、次のとおり

- ・特別展期間中の入館者：10,291人
- ・ネットワーク事業(県立図書館)：2,599人
- ・出前美術館(扇田小学校)：1,022人
- ・出前美術展(能代エナジウムパーク)：2,771人
- ・常設展(5F展示替期間)：1,203人
- ・出前講座等(館外)：307人

※(3) 「響きあう個性」は、令和3年3月13日～令和3年4月18日まで開催。

※(4) 「近美彫刻セレクション」は、令和4年2月12日～令和4年4月17日まで開催。

## 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応

令和2年に国内で確認された新型コロナウイルス感染症は、令和3年も全国で感染の拡大が相次いだ。秋田県内の感染者数は8月に一旦ピークを迎え、その後は減少して12月末まで感染者がゼロの日も多くみられた。しかし、令和4年1月からは変異株のオミクロン株が猛威を振るい、県内でも新規感染者が200人を超える日が続いた。

令和3年度は、感染症予防対策を徹底し、当館を含む秋田ふるさと村の施設の休館や展覧会が中止になる事態は避けられたが、一部の事業は中止や延期を余儀なくされた。

また令和2年度に引き続き、当館ではキッズルーム、ふれんどりーギャラリー、ハイビジョンギャラリーの一部を閉鎖した状態で開館した。

### ■開催を中止した展示、イベント

- ・企画展、コレクション展のギャラリートーク
- ・特別展 生誕100年 滝平二郎展  
    ギャラリーツアー 9月11日（土）  
    記念対談 アーサー・ビナード×滝平加根 10月 3日（日）
- ・美術館教室 「工芸教室 蒔絵で彩る」 9月11日（土）、12日（日）
- ・きっずあーと 「つちねんどでドロンコアート」 8月 8日（日）

### ■開催を延期した展示、イベント

- ・特任館長講座 室町から桃山時代の美術と文化Ⅱ 風俗画の世界  
    第1回 5月 8日（土） 延期日程 第1回 6月 5日（土）  
    第2回 6月 5日（土） 第2回 7月10日（土）  
    第3回 7月10日（土） 第3回 8月 7日（土）  
    第4回 8月 7日（土） 第4回 8月21日（土）  
    第5回 9月25日（土） 第5回 9月25日（土）  
    第6回 10月16日（土） 第6回 10月16日（土）  
    第7回 11月 6日（土） 第7回 11月 6日（土）  
    第8回 12月 4日（土） 第8回 12月 4日（土）

### ■セカンドスクールの対応について

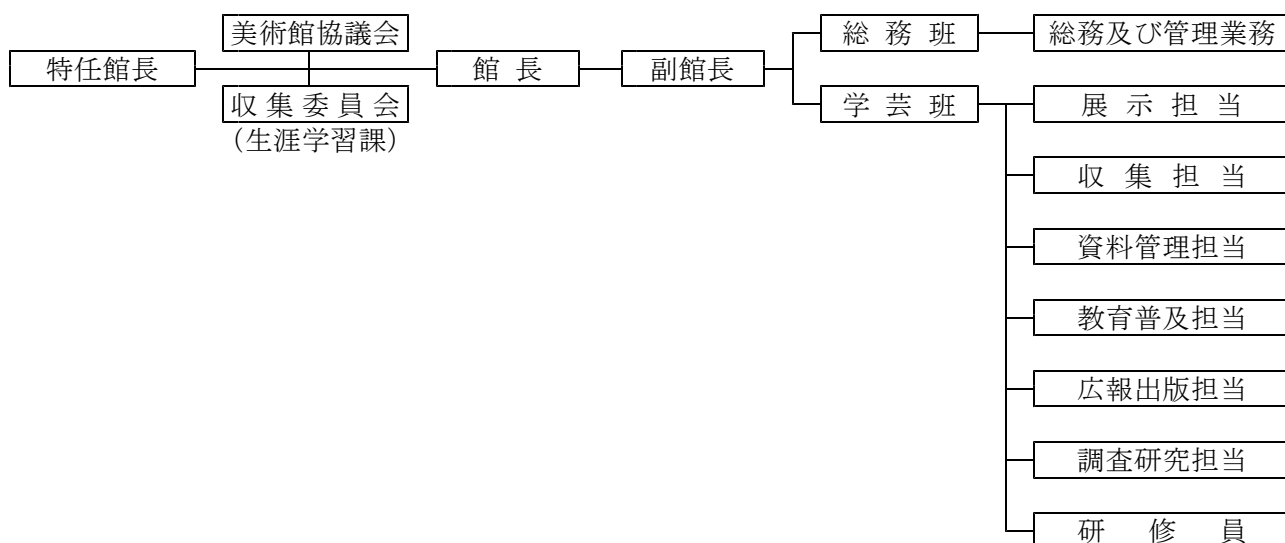
感染予防の観点から、制作体験の受け入れは見合わせとし、展示鑑賞のみを受け入れた。一度に案内する人数を20名程度に制限して実施した。展示室で作品の前に集まったの対話型鑑賞は実施しなかった。

### ■感染予防対策

- ・職員のマスク着用、来館者へのマスク着用をお願い
- ・非接触型体温計による検温
- ・手指消毒用アルコールを設置
- ・受付、展示室入口カウンターのアクリルボード設置
- ・展示室入口、展示室内でのソーシャルディスタンス間隔表示
- ・スイッチ、ドアノブ等の定期消毒
- ・貸出用のベビーカー等の消毒
- ・秋田県版新型コロナ安心システムの案内板設置

# 組織

## 組織図



## 職員

名誉館長  
 特任館長  
 館長  
 副館長(兼)班長  
 副主幹(兼)班長  
 副主幹  
 主事  
 副主幹  
 学芸主事

河野 元昭  
 仲町 啓子  
 亀 沢 覚  
 保 泉 充  
 土田友紀子  
 北嶋 幸生  
 高階 奨  
 鈴木 秀一  
 木村 雅洋  
 羽川 尚  
 藤井 正輝  
 小林 紀子  
 秋田 達也  
 鈴木 京  
 伊藤 正信  
 阿部 寿範

美術資料整備  
 学芸補助  
 解説員

解説員業務補助

本間 恵里子  
 村田 詩織  
 佐藤 美佳  
 原 彩野  
 赤川 和歌子  
 佐々木 瑞穂  
 岸 穂乃香  
 菅原 希  
 俵谷 彩子  
 藤田 園  
 菊地 佳奈  
 柴田 幸恵

主任(兼)学芸主事  
 技能主任  
 研修員

## 美術館協議会委員

会長  
 副会長

横井 朗  
 佐藤 克己  
 池田 聖子  
 伊藤 聖子  
 小笠原 豊  
 鎌田 あかね  
 河田 美智子  
 長沢 薫  
 石井 令人  
 渡辺 歩

横手市教育委員会生涯学習課長  
 横手市立横手南小学校長  
 色々美術研究所代表  
 秋田ふるさと村営業部イベント企画広報課長  
 小笠原権工房代表  
 Little A 代表  
 大館市女性センター会計年度職員  
 秋田県書道連盟理事  
 日本放送協会秋田放送局長  
 秋田魁新報社文化部長

# 関係法規

## 秋田県ふるさと村条例（抜粋）

### 第1章 総則 （設置）

#### 第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）

#### 第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施設	業務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

### 第2章 近代美術館 （近代美術館）

#### 第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。

（職員）

#### 第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。  
（近代美術館協議会）

#### 第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 近代美術館の利用者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）

#### 第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料等の減免）

#### 第8条

知事は、特別の理由があると認めるときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）

#### 第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めるときは、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）

#### 第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附則

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

#### 別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区分	金額（一人につき）
普通料金	840円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	750円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

## 教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

### 第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

### 第12条

条例第5条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

## 第8章の2 近代美術館

（開館時間）

### 第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

### 第37条の3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1月1日及び1月2日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

### 第37条の4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

### 第37条の5

第3条第3項及び第4項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第6条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第7条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例（平成5年秋田県条例第45号）第8条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

### 第37条の6

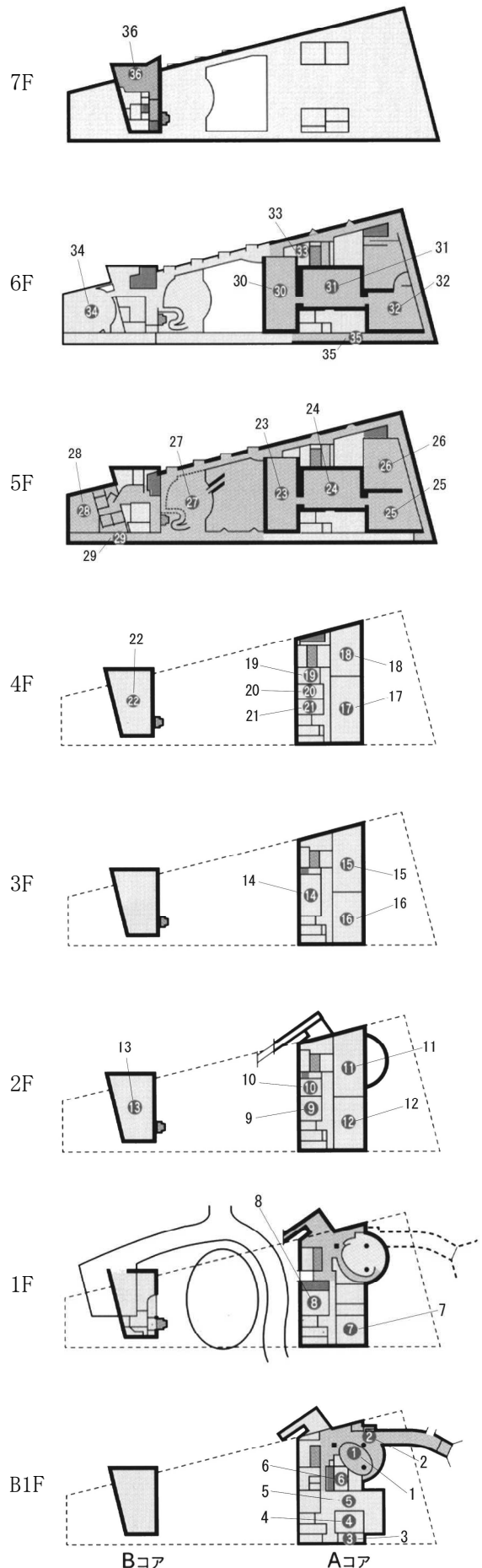
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

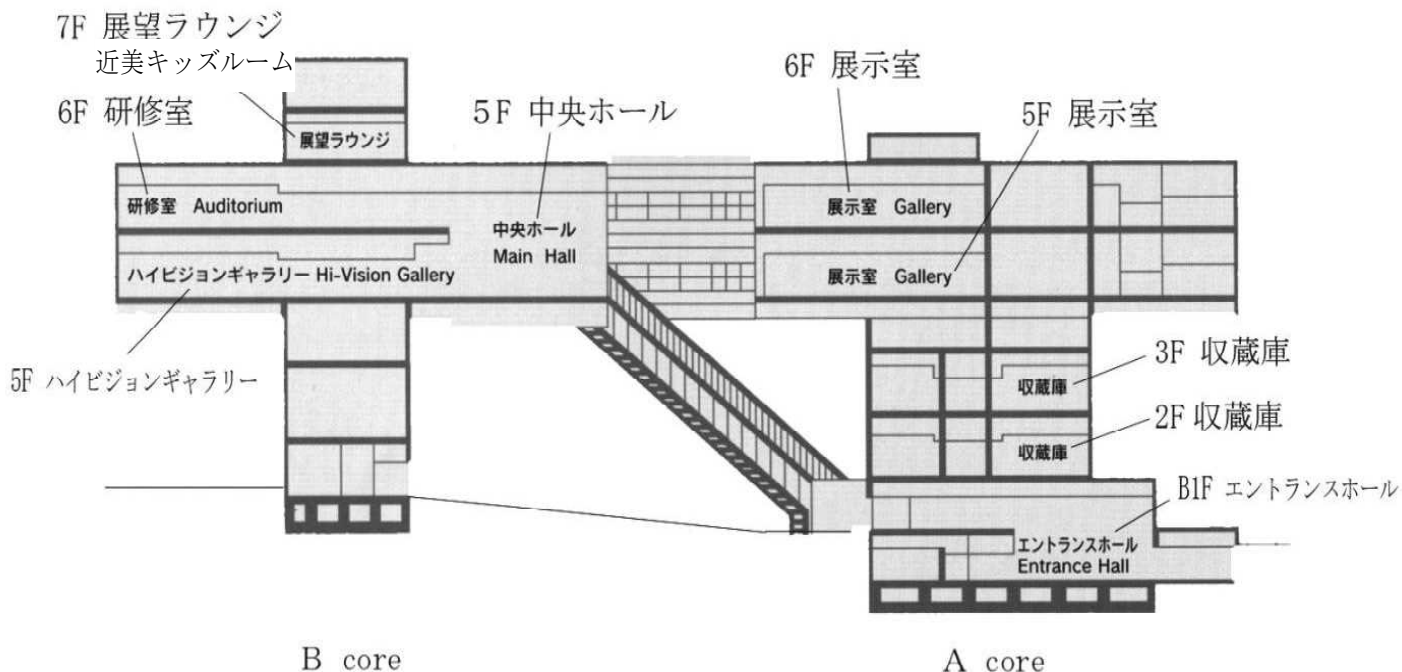
## 附則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

# 館内図

7F	36	近美キッズ・ルーム	Kid's Room
6F	35	スロープギャラリー	Slope Gallery
	34	研修室	Auditorium
	33	授乳室	Baby Room
	32	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	31	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	30	展示室(1)	Exhibition Gallery1
5F	29	ふれんどりーギャラリー	Friendly Gallery
	28	ハイビジョンギャラリー	Hi-Vision Gallery
	27	中央ホール	Main Hall
	26	展示室(4)	Exhibition Gallery4
	25	展示室(3)	Exhibition Gallery3
	24	展示室(2)	Exhibition Gallery2
	23	展示室(1)	Exhibition Gallery1
4F	22	電気室	Electric Room
	2	調査・研究室	Study Room
1		館長室	Director's Room
	20	応接室	Lounge
	19	図書・資料室	Library
	18	事務室	Museum Office
	17		
3F	16	収蔵庫(5)	Storage Room5
	15	収蔵庫(4)	Storage Room4
	14	収蔵庫(3)	Storage Room3
2F	13	機械室	Machine Room
	12	収蔵庫(2)	Storage Room2
	11	収蔵庫(1)	Storage Room1
	10	暗室	Dark Room
	9	写真室	Photo Studio
1F	8	会議室	Conference Room
	7	実習室	Atelier
B1F	6	燻蒸室	Fumigation Room
	5	荷解室	Packing Room
	4	一時保管庫	Temporary Storage Room
	3	管理室	Guard Room
	2	インフォメーション	Information
	1	エントランスホール	Entrance Hall





- 1 **エントランスホール** 彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 **エスカレーター** 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 **中央ホール** 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 **ハイビジョンギャラリー** 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 **展示室** 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 **実習室** 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 **研修室** 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 **收藏庫** 5室からなる收藏庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 **野外展示スペース** 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

# 建築・設備概要

## 建築概要

建設地	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
敷地面積	164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建築面積	2,947.32㎡
延床面積	11,166.50㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地下1階 地上7階 PH1階
設計	株式会社 山下設計東北支社
監理	秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

## 施工

建築工事	大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調	ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気	東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生	岡田水道施設工事(株)
受変電	羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電	千代田電気工業(株)
昇降機	三菱電機(株)

## 設備概要

### 電気設備

受変電設備	受電電圧3f 3W 6.6KV 50Hz 設備容量1,500KW
非常用発電設備	ディーゼル発電機(A重油)300KVA200V
蓄電池設備	非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備	中央監視装置：機能分散型DDC方式による 集中監視制御
照明設備	蛍光管主体 展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅 制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備	拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・ TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラ リー4系統(80インチ液晶モニター1台・60インチ 液晶モニター3台)ハイビジョンデータベース システム1系統(32インチ液晶モニター1台)
防犯設備	防犯センサー・ITV装置
防災設備	自動火災装置・防排煙設備

### 空調設備

熱源設備	吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG 焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備	ユニット型空調機(還風機組込型)×4台 ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台 ファンコイルユニット天井カセット型×105台 水冷式パッケージ型空調機×6台 空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備	第1種及び第3種換気方式
排煙設備	機械排煙及び自然排煙
自動制御設備	機能分散型
燻蒸設備	常圧手動式ユニット型20㎡

### 給排水衛生設備

給水設備	上水引込口径75mm 重力給水方式 受水槽24m <sup>3</sup> 高置水槽6m <sup>3</sup>
給湯設備	局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備	建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式 建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化 槽へ導入
ガス設備	ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給 主に空調用熱源のエネルギー源として利用
消火設備	炭酸ガス消火・屋内消火栓

### エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

### エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1台
-----------	---------	-------	----

### 主な設備

5階展示室(4室計) 983.10㎡	収蔵庫(5室計) 852.9㎡
(1室) 260.28㎡	会議室 69.4㎡
(2室) 293.76㎡	実習室・準備室 135.0㎡
(3室) 237.13㎡	図書資料室 160.5㎡
(4室) 191.93㎡	調査研究室 45.5㎡
6階展示室(3室計) 786.90㎡	ハイビジョンギャラリー 241.9㎡
(1室) 255.96㎡	研修室 226.7㎡
(2室) 293.76㎡	キッズ・ルーム 128.9㎡
(3室) 237.13㎡	



## 利用案内

### ◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分  
(入館は午後4時30分まで)

### ◆休館日 (2021年度)

2021年12月29日～12月31日(年末休館)  
2022年 1月12日～ 1月21日(メンテナンス休館)

### ◆料 金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 ときめく美人画展 団体(20名～)・前売り	1,000円 800円	無料	無料	無料	半額
特別展 カラクリ展 団体(20名～)・前売り	1,000円 800円	600円 500円	無料	無料	半額
特別展 滝平二郎展 団体(20名～)・前売り	1,200円 1,000円	無料	無料	無料	半額
特別展 勝平得之 団体(20名～)	500円 450円	無料	無料	無料	無料
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する幼児・児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

## General Information

### ◆Museum hours

9:30 a.m. ～5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

### ◆Closed (Fiscal year 2021)

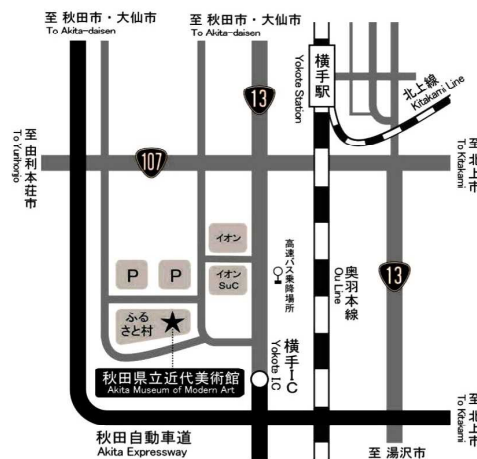
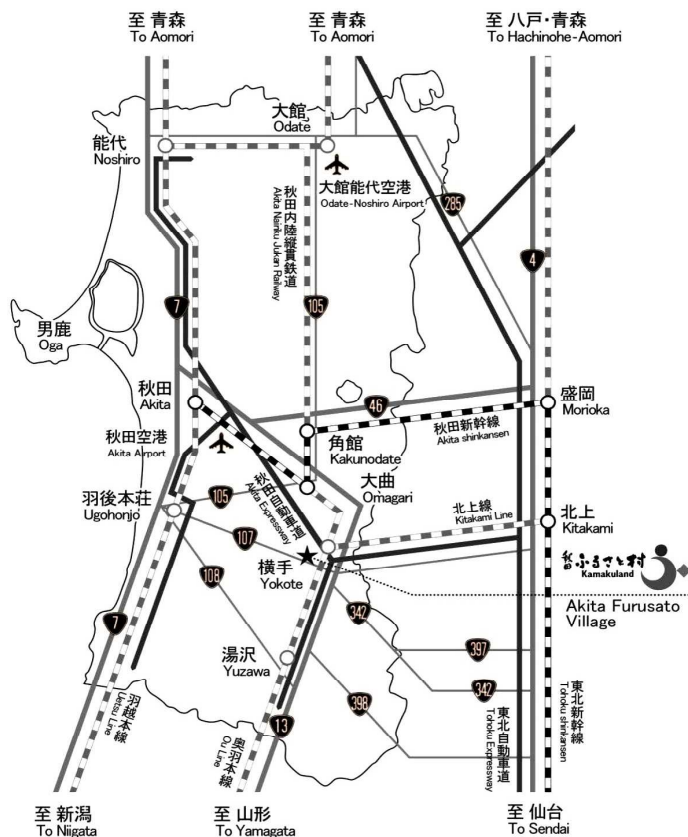
- ・ Dec. 29-31, 2021 Year-end Holidays
- ・ Jan. 12-21, 2022 Maintenance Week

### ◆Admission Fee

	adult	senior high school & college student	elementary & junior high school student	pre-school child	handicapped person
Special Exhibition Tokimeku Bijinga※	¥1,000 ¥800	¥0	¥0	¥0	¥500
Special Exhibition Karakuri※	¥1,000 ¥800	¥600 ¥500	¥0	¥0	¥500
Special Exhibition Takidaira Jirou※	¥1,200 ¥1,000	¥0	¥0	¥0	¥600
Special Exhibition Katsuhira Tokusi*	¥500 ¥450	¥0	¥0	¥0	¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

- ※ Group Discount(20 persons and more)& an advance ticket.
- \* Group Discount(20 persons and more)& Senior discount. (persons of ages70 and over).

## 交通案内 Transportation



- ◆ (JRとバスで)  
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- ◆ (お車で)  
秋田自動車道 横手インターより3分
- ◆ (高速バスで)  
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車、徒歩10分
- ◆ (By JR train and bus)  
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ◆ (By car)  
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ◆ (By Express bus, Yuzawa-Akita Line)  
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

**秋田県立近代美術館年報** 2022年6月発行  
編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46  
TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858  
<https://common3.pref.akita.lg.jp/kinbi/>  
E-mail: [akitamma@rnac.ne.jp](mailto:akitamma@rnac.ne.jp)